

登録数—部位別 <2019年>

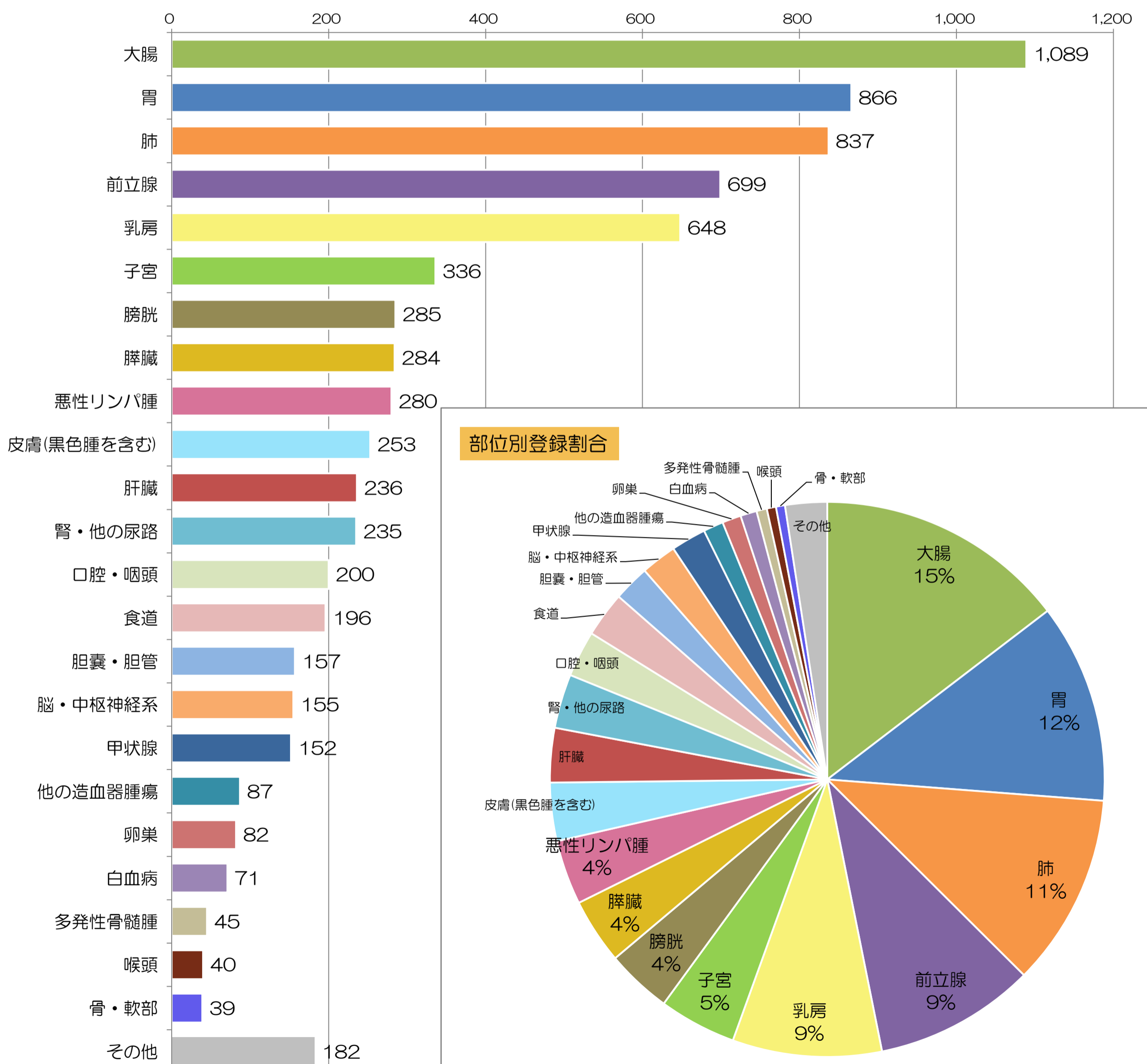
登録数は、男性は4,222件、女性は3,232件で合計は7,454件となる。

部位別には、男性では、前立腺が最も多く699件、次いで大腸が634件、胃が599件、肺が580件、膀胱229件、女性では、乳房が最も多く647件、次いで大腸が455件、子宮が336件、胃が267件、肺が257件の順となる。

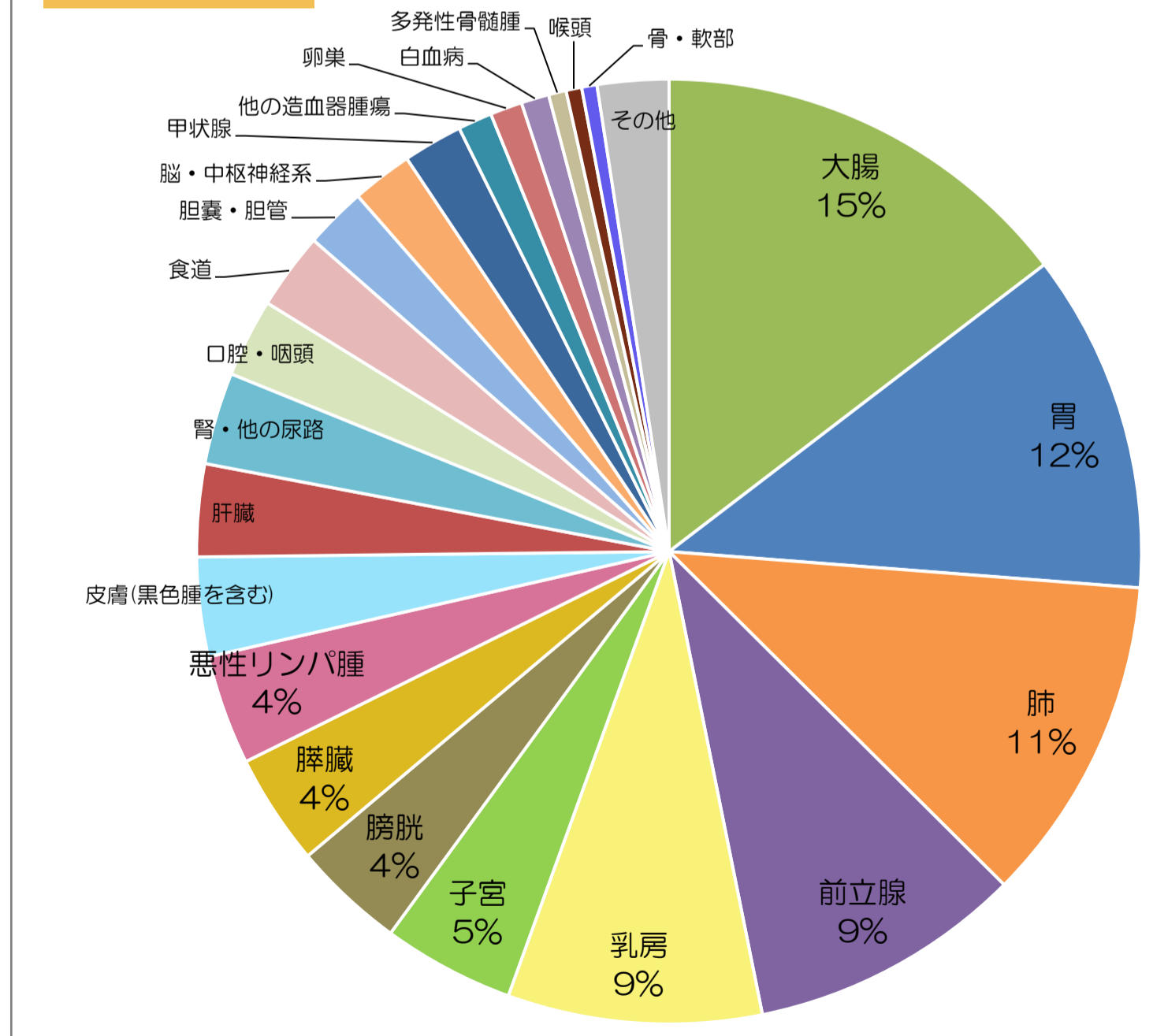
男女別割合は、男性が57%、女性が43%で、脳・中枢神経系、甲状腺、膵臓、皮膚以外のほとんどの部位で男性が多い。男性の登録数が女性の登録数の2倍以上を示す部位は、食道で最も大きく4.4倍、次いで膀胱が4.1倍、口腔・咽頭、胃、肝臓、肺などが2倍強である。

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆嚢・胆管	膵臓	喉頭	肺	骨・軟部	皮膚(黒色腫を含む)	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	腎・他の尿路	脳・中枢神経系	甲状腺	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	他の造血器腫瘍	その他	合計
男性	141	160	599	634	170	91	141	38	580	23	119	(1-3)	-	-	699	229	144	60	50	145	18	43	47	90	4,222
女性	59	36	267	455	66	66	143	(1-3)	257	16	134	647	336	82	-	56	91	95	102	135	27	28	40	92	3,232
合計	200	196	866	1,089	236	157	284	40	837	39	253	648	336	82	699	285	235	155	152	280	45	71	87	182	7,454

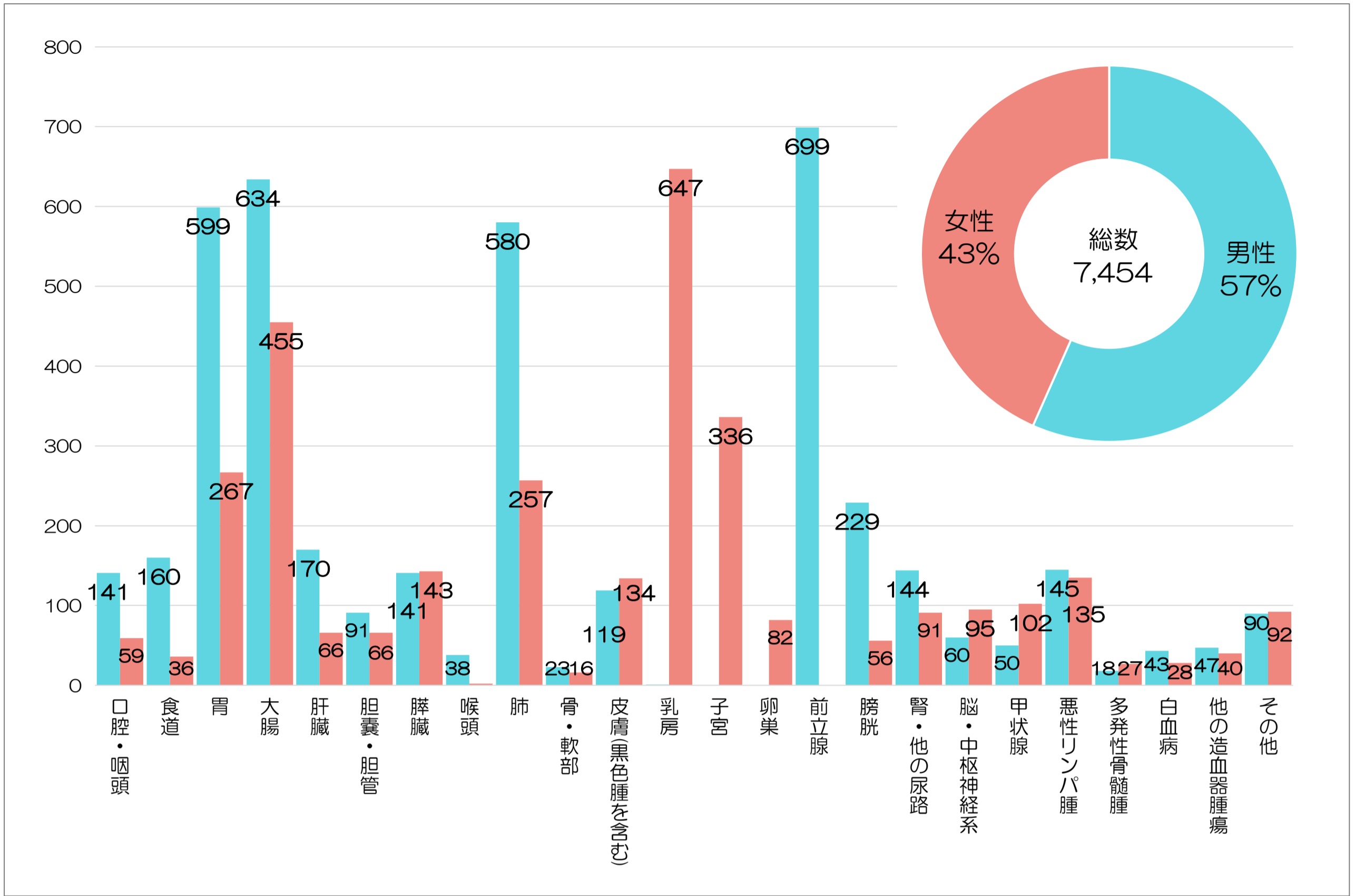
部位別登録数



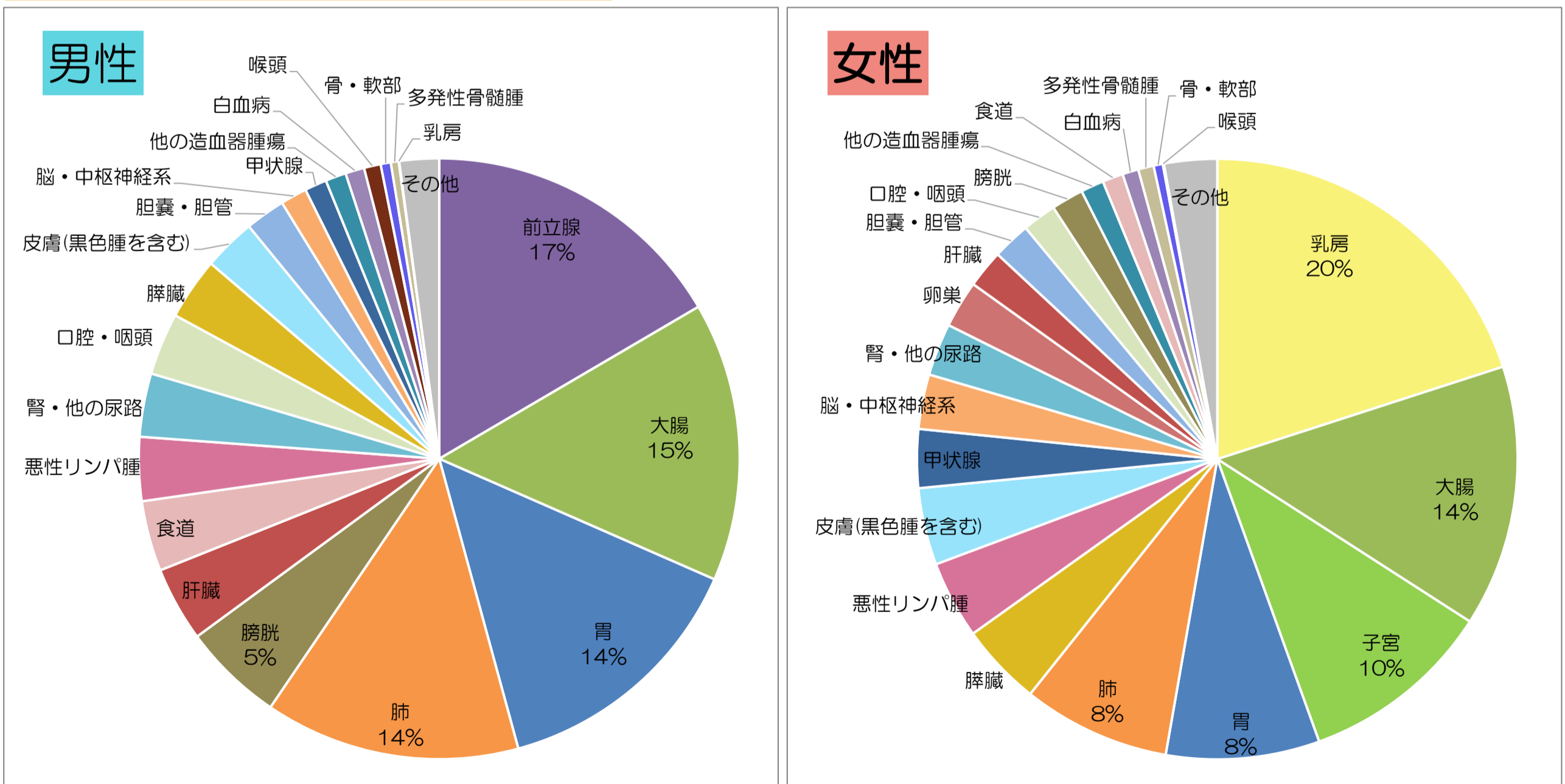
部位別登録割合



登録数一部位別【男女別】 <2019年>



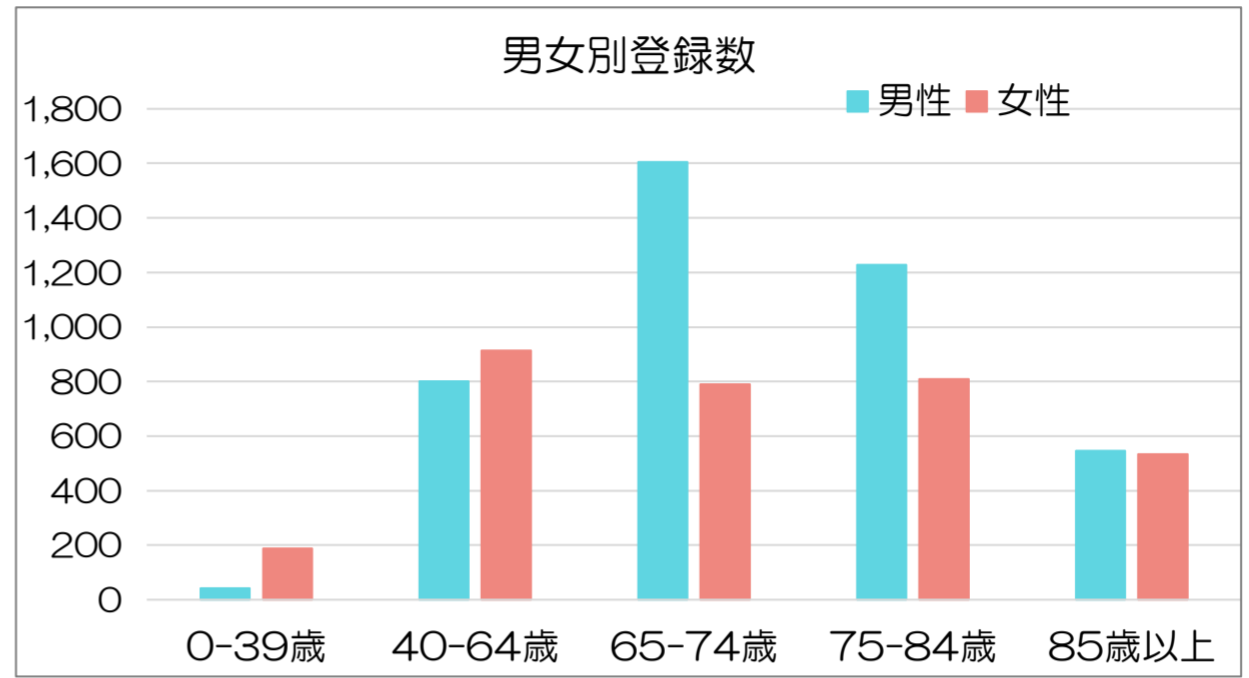
部位別登録割合【男女別】 <2019年>



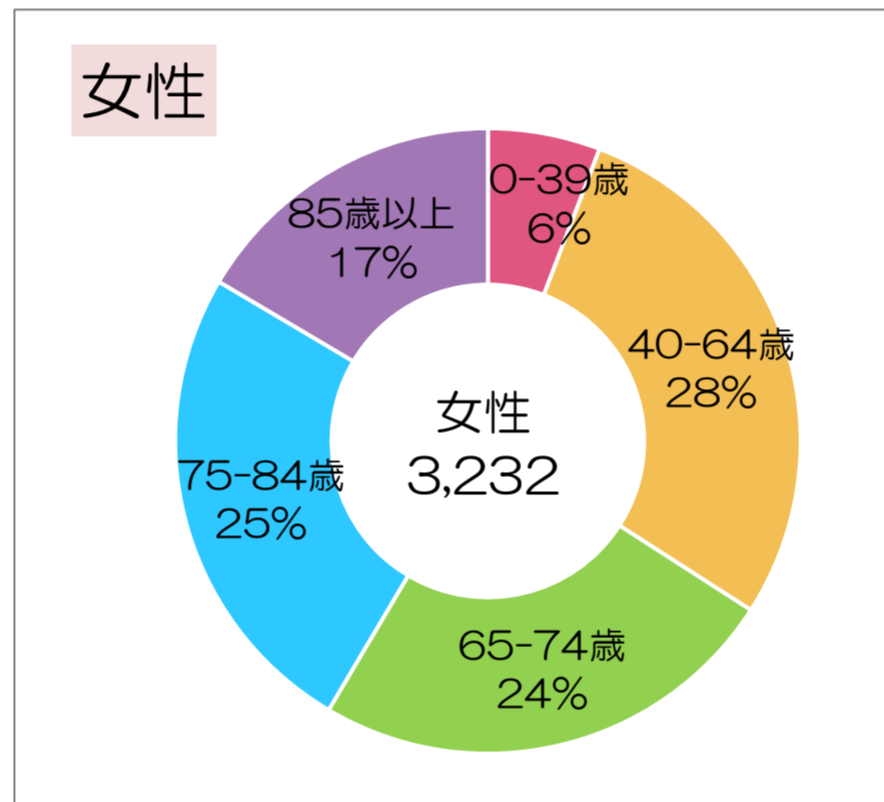
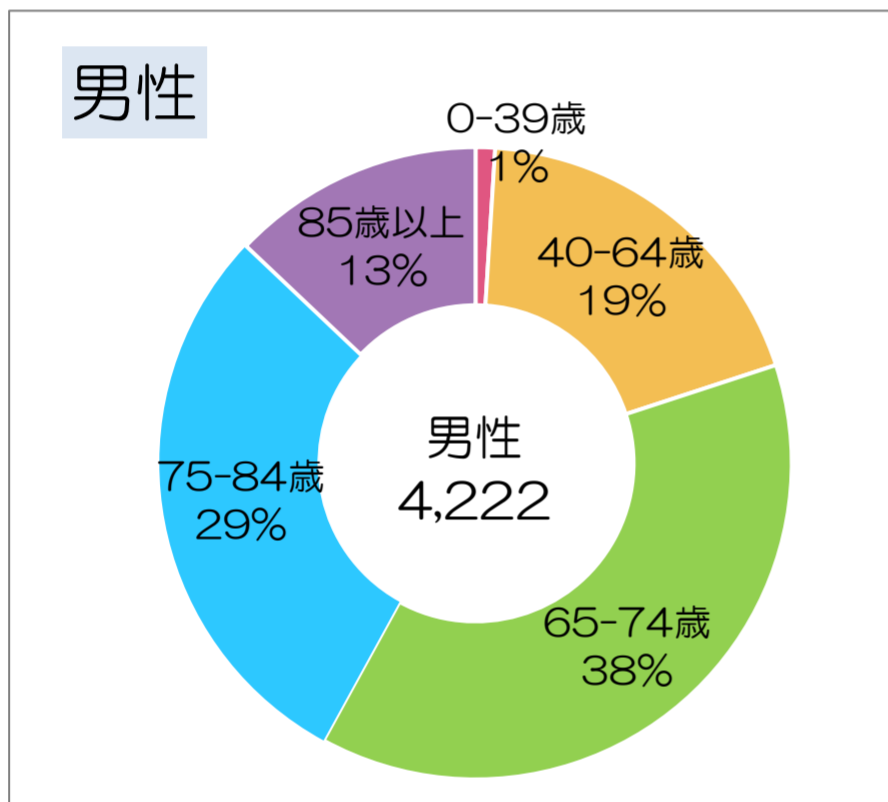
登録数—年齢階級別【男女別】〈2019年〉

年齢階級別には、男性では、65-74歳にピークが見られる。女性では、40-64歳が最も多く、次いで75-84歳、65-74歳の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性で80%、女性では66%を占め、男性が14%も多い。
 部位別には、0-39歳の男性では、多い順に脳・中枢神経系、大腸、白血病など、女性では、子宮、乳房、40-64歳の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮、65-74歳の男性では、前立腺、大腸、女性では、乳房、大腸、75-84歳の男性では、前立腺、胃、肺、女性では、大腸、乳房、胃、85歳以上では、男性は前立腺、女性は大腸である。

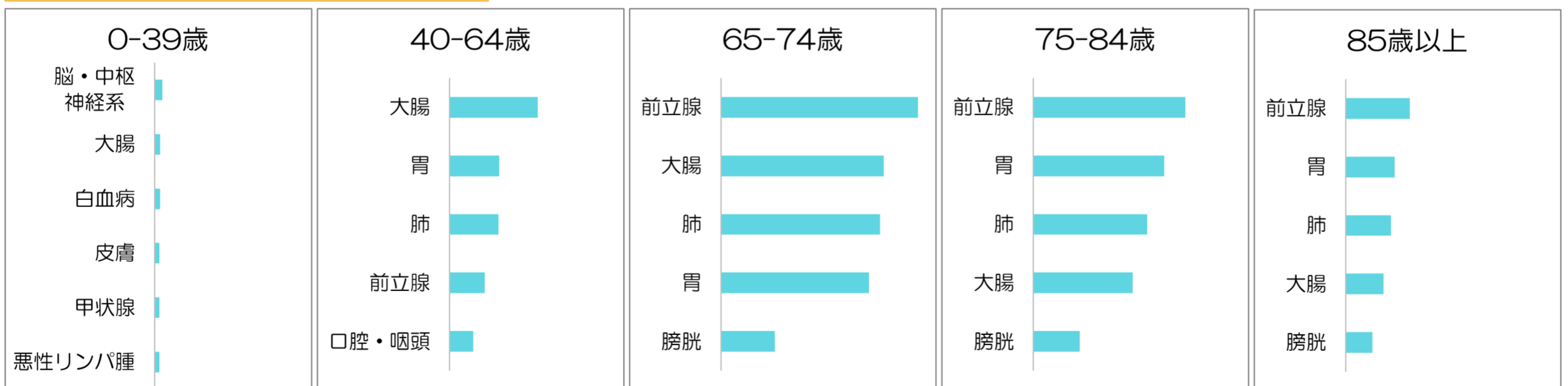
年齢階級別	登録数		
	男性	女性	合計
0-39歳	42	188	230
40-64歳	801	914	1,715
65-74歳	1,605	789	2,394
75-84歳	1,228	808	2,036
85歳以上	546	533	1,079
合計	4,222	3,232	7,454



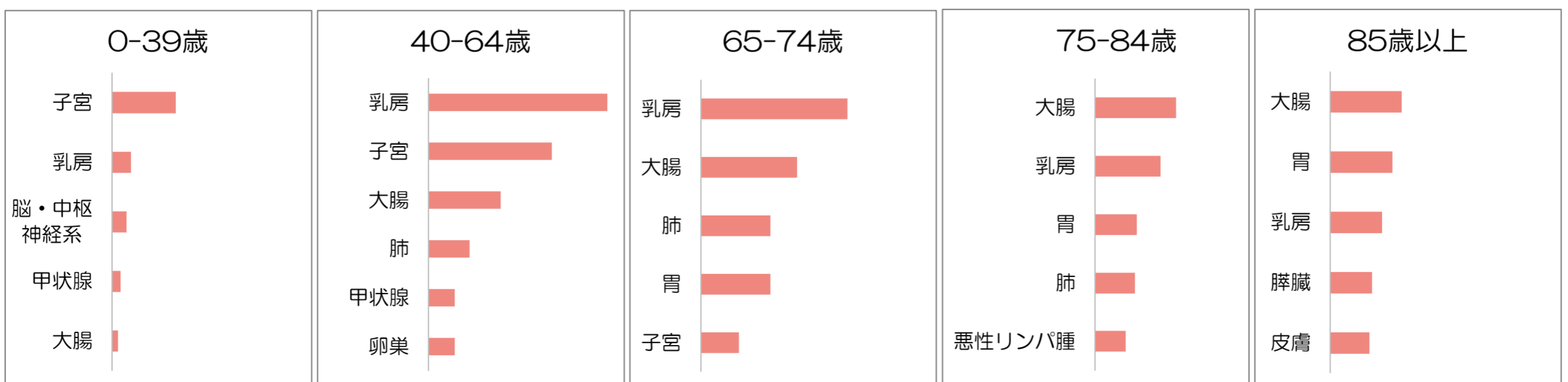
年齢階級別登録割合



年齢階級別登録数の上位5部位—男性



年齢階級別登録数の上位5部位—女性



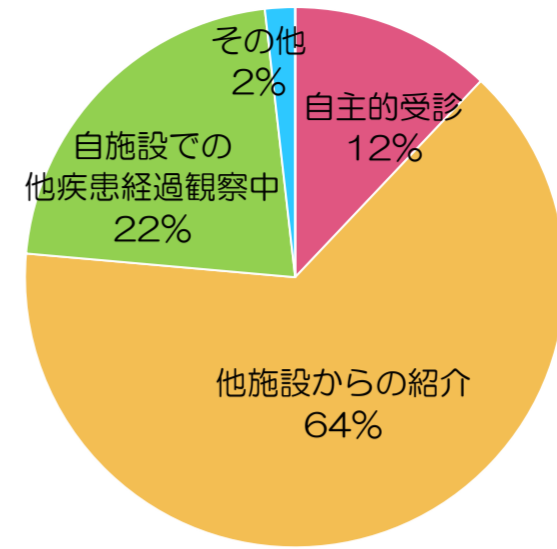
来院経路別登録数 <2019年>

来院経路別には、「他施設からの紹介」が64%を占めて最も多く、次いで「自施設で他疾患経過観察中」が22%、「自主的受診」は12%と少ない。

全国比較では、「自主的受診」は全国より多く、「他施設からの紹介」は全国より少なく、「自施設で他疾患経過観察中」は全国より多い。施設別には、「自主的受診」は鳥取生協病院、博愛病院で最も多く、「他施設からの紹介」は鳥取大学医学部附属病院、米子医療センターで最も多い。

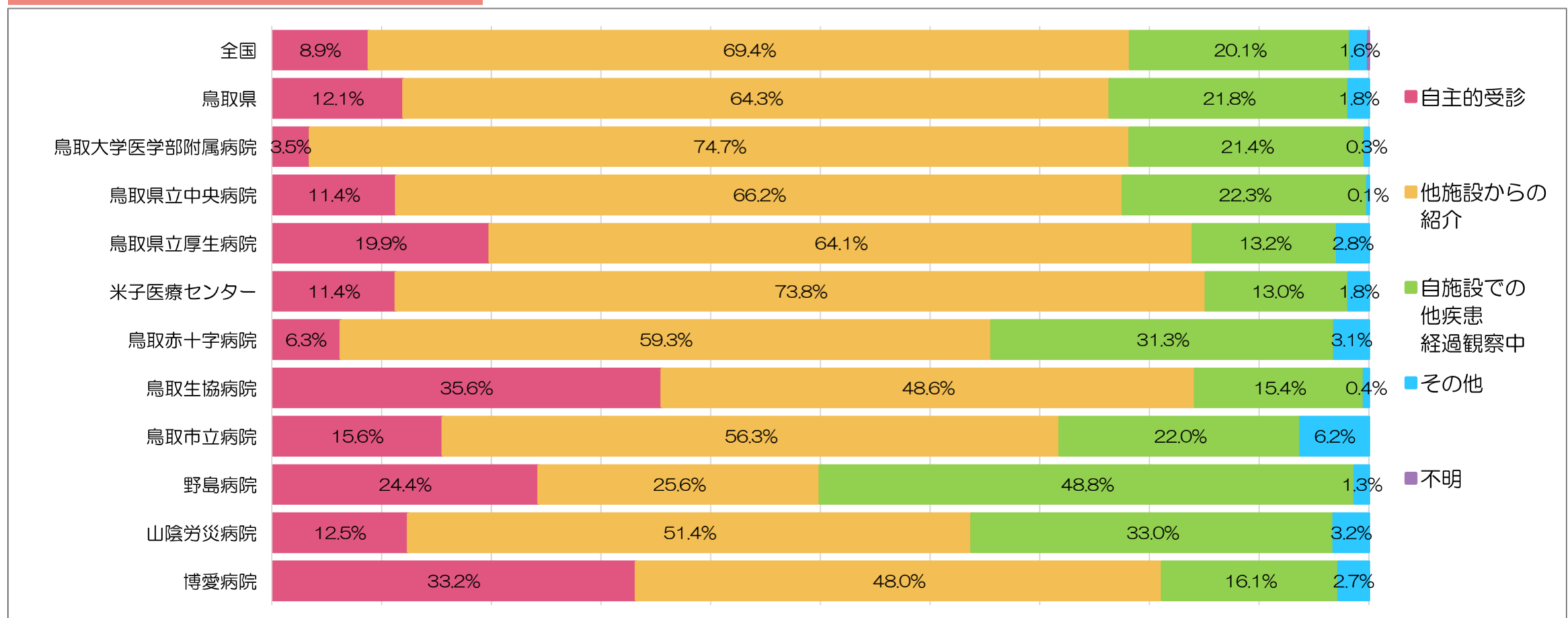
部位別には、「自主的受診」は乳房が最も多く、「他施設からの紹介」は子宮体部が最も多く、次いで前立腺が多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）

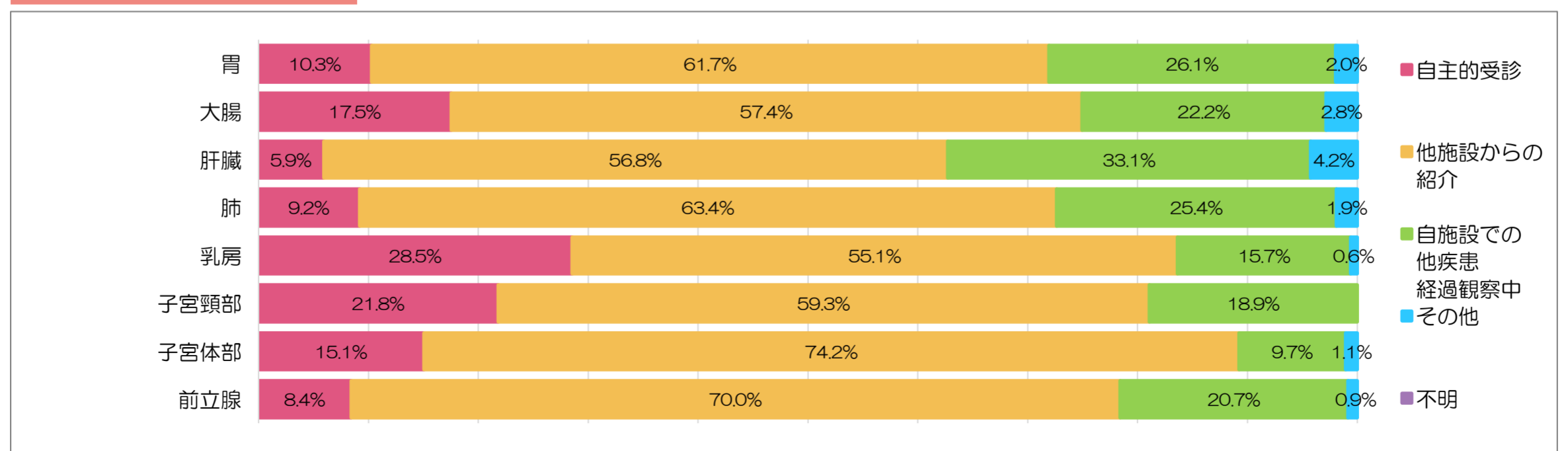


	自主的受診	他施設からの紹介	自施設での他疾患経過観察中	その他	不明	合計
全国	95,358	742,975	214,805	17,541	282	1,070,961
鳥取県	899	4,796	1,625	134	-	7,454
鳥取大学医学部附属病院	73	1,554	445	(7-9)	-	2,079
鳥取県立中央病院	124	721	243	(1-3)	-	1,089
鳥取県立厚生病院	154	496	102	22	-	774
米子医療センター	95	618	109	15	-	837
鳥取赤十字病院	53	497	262	26	-	838
鳥取生協病院	90	123	39	(1-3)	-	253
鳥取市立病院	86	310	121	34	-	551
野島病院	39	41	78	(1-3)	-	160
山陰労災病院	63	260	167	16	-	506
博愛病院	122	176	59	10	-	367

来院経路別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



来院経路別登録割合（主要部位）



発見経緯別登録数 <2019年>

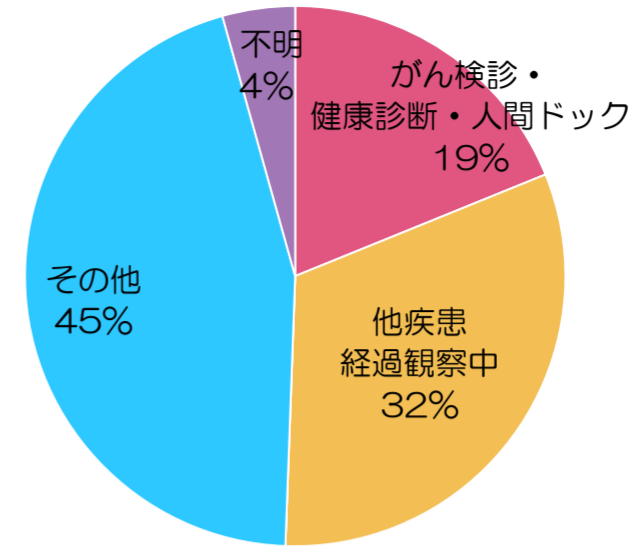
発見経緯別には、「他疾患経過観察中」が32%で最も多く、「がん検診・健康診断・人間ドック」は19%と少ない。

なお、「その他」が45%と多いが、「その他」には自覚症状による受診も含まれるため、割合が多くなっていると予測される。

全国比較では、「がん検診・健康診断・人間ドック」は鳥取県が全国より約4%多く、施設別には博愛病院が30%と最も多い。

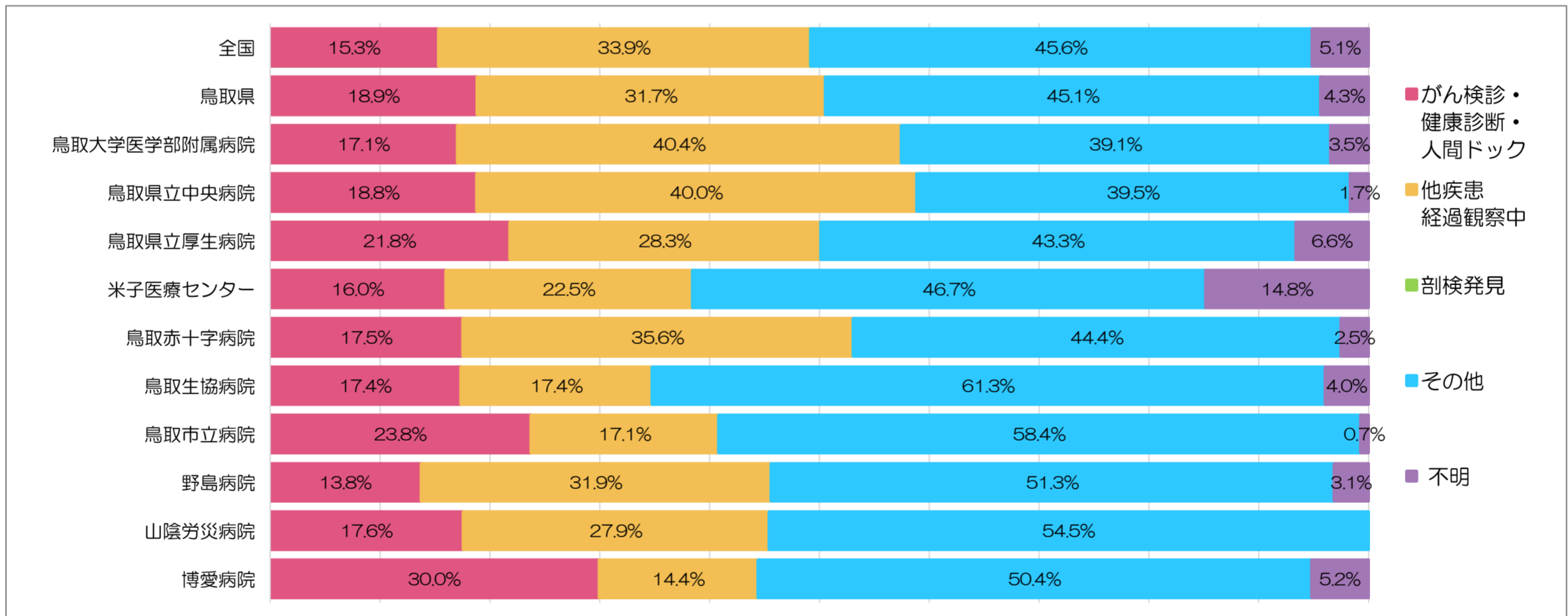
「がん検診・健康診断・人間ドック」は、施設別には博愛病院が最も多く、部位別には、子宮頸部、胃、大腸、前立腺、乳房の順で多く、「他疾患経過観察中」は肝臓が60.6%と最も多い。

発見経緯別登録割合（鳥取県）

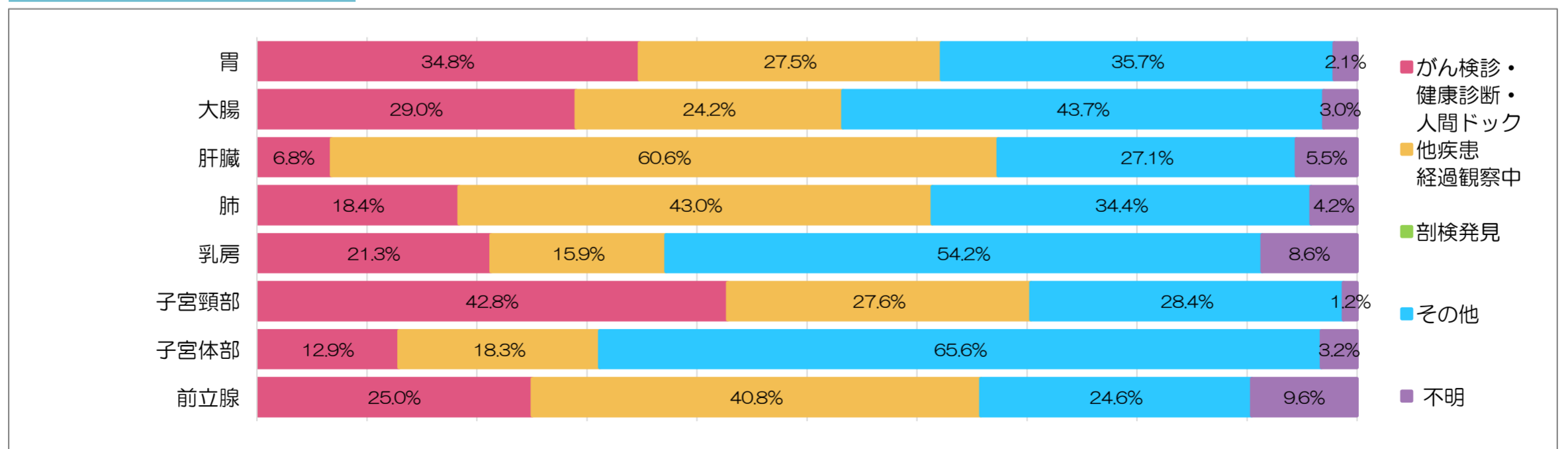


	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他	不明	合計
全国	164,172	362,841	80	488,873	54,995	1,070,961
鳥取県	1,406	2,364	-	3,360	324	7,454
鳥取大学医学部附属病院	355	840	-	812	72	2,079
鳥取県立中央病院	205	436	-	430	18	1,089
鳥取県立厚生病院	169	219	-	335	51	774
米子医療センター	134	188	-	391	124	837
鳥取赤十字病院	147	298	-	372	21	838
鳥取生協病院	44	44	-	155	10	253
鳥取市立病院	131	94	-	322	(4-6)	551
野島病院	22	51	-	82	(4-6)	160
山陰労災病院	89	141	-	276	-	506
博愛病院	110	53	-	185	19	367

発見経緯別登録割合（全国・鳥取県・施設別）



発見経緯別登録割合（主要部位）



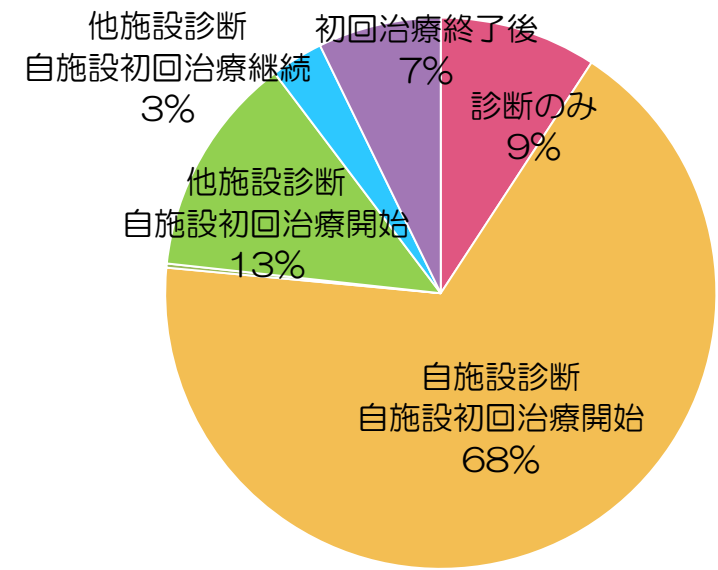
症例区分別登録数 <2019年>

症例区分別には、「診断のみ」は9%で、ほとんどは自施設で診断し、自施設で初回治療を行う「自施設診断自施設初回治療開始」(68%)であり、他施設で診断し、自施設で初回治療を行う「他施設診断自施設初回治療開始」は13%である。

全国比較では、鳥取県は「診断のみ」と「自施設初回治療開始」が多く、「他施設診断初回治療」と「初回治療終了後」の割合は少ない。

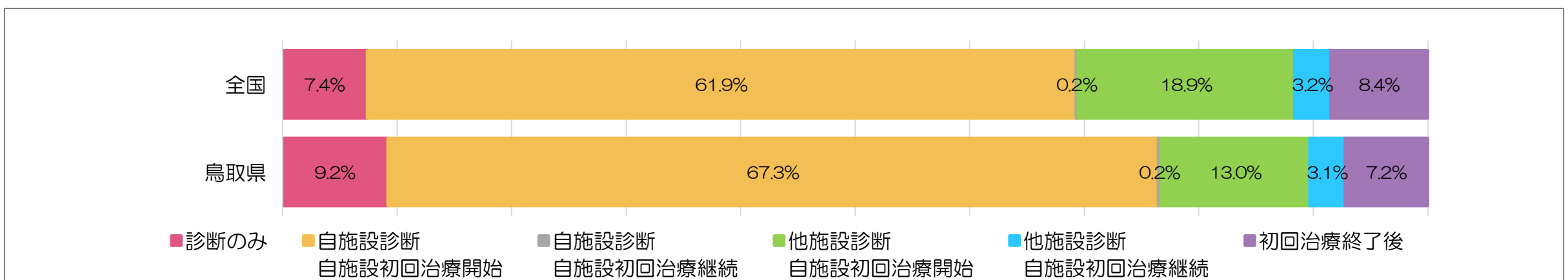
施設別には、「診断のみ」は山陰労災病院、博愛病院など準拠点病院で高い。拠点病院では、特に鳥取大学医学部附属病院で「診断のみ」が4.2%で最も低く、「他施設診断自施設初回治療開始」は25.1%で最も高い。他方、「初回治療終了後」は、米子医療センターの26.4%が最も高く、次いで鳥取生協病院の15.8%、鳥取県立厚生病院の11.8%の順で高い。

症例区分別登録割合(鳥取県)

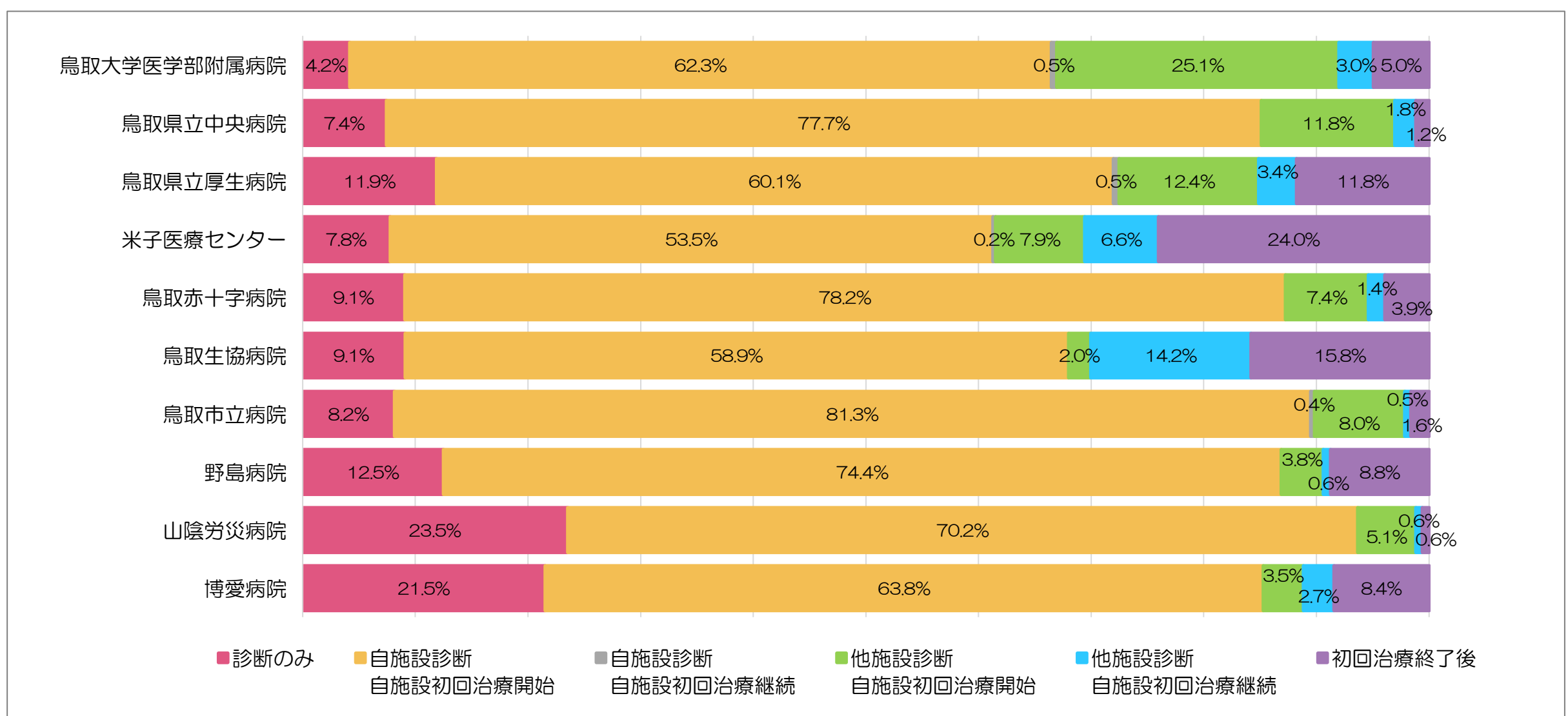


	診断のみ	自施設診断 自施設 初回治療開始	自施設診断 自施設 初回治療継続	他施設診断 自施設 初回治療開始	他施設診断 自施設 初回治療継続	初回治療終了後	合計
全国	79,203	662,894	1,995	202,220	34,186	90,463	1,070,961
鳥取県	687	5,014	18	968	229	538	7,454
鳥取大学医学部附属病院	87	1,295	10	521	63	103	2,079
鳥取県立中央病院	81	846	-	129	20	13	1,089
鳥取県立厚生病院	92	465	(4-6)	96	26	91	774
米子医療センター	65	448	(1-3)	66	55	201	837
鳥取赤十字病院	76	655	-	62	12	33	838
鳥取生協病院	23	149	-	(4-6)	36	40	253
鳥取市立病院	45	448	(1-3)	44	(1-3)	(7-9)	551
野島病院	20	119	-	(4-6)	(1-3)	14	160
山陰労災病院	119	355	-	26	(1-3)	(1-3)	506
博愛病院	79	234	-	13	10	31	367

症例区分別登録割合(全国・鳥取県)



症例区分別登録割合(施設別)



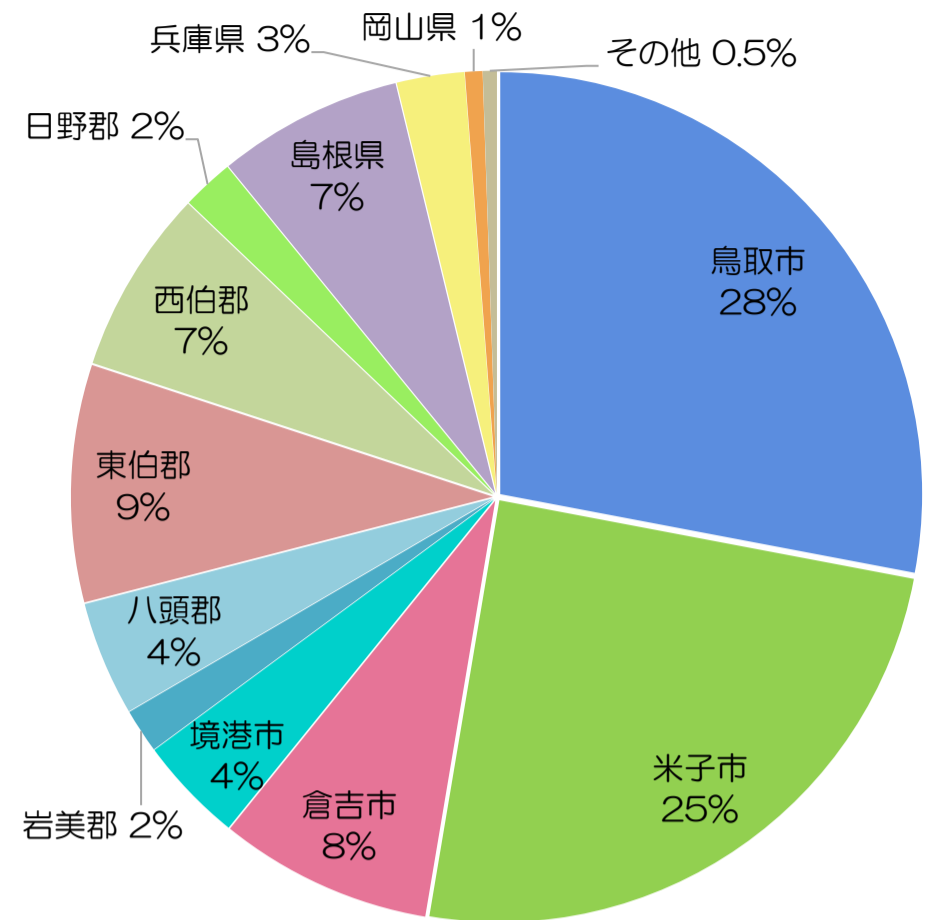
診断時住所別登録数 <2019年>

診断時住所別には、鳥取県内では、鳥取市が最も多く28%、次いで米子市の25%で、両市で半数の53%を占める。東伯郡が9%、倉吉市の8%、西伯郡の7%、八頭郡、境港市の4%、岩美郡、日野郡の2%の順で続く。県外住所では、島根県が7%、兵庫県が3%、岡山県が1%を占める。

施設別には東部では、鳥取県立中央病院の1,089件、次いで鳥取赤十字病院の838件、鳥取市立病院の551件、鳥取生協病院の253件である。中部では、鳥取県立厚生病院の774件、野島病院の160件、西部では、鳥取大学医学部附属病院の2,079件が最も多く、次いで米子医療センターの837件、山陰労災病院の506件、博愛病院の367件である。

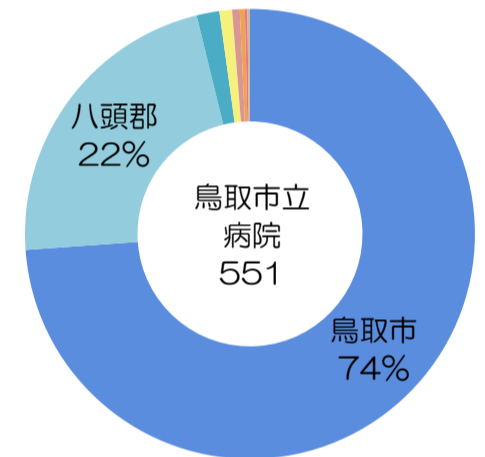
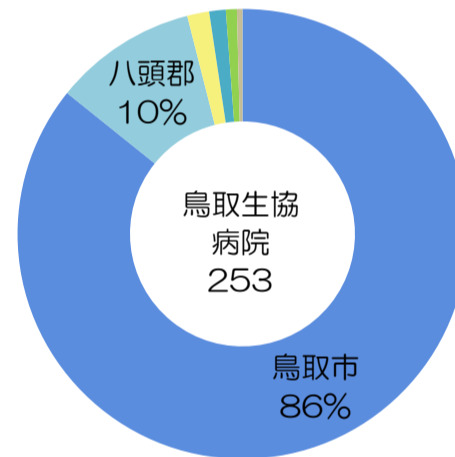
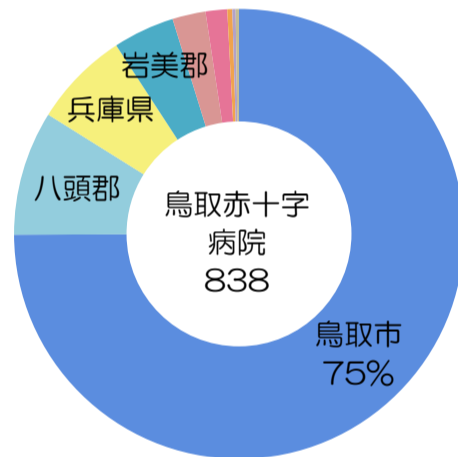
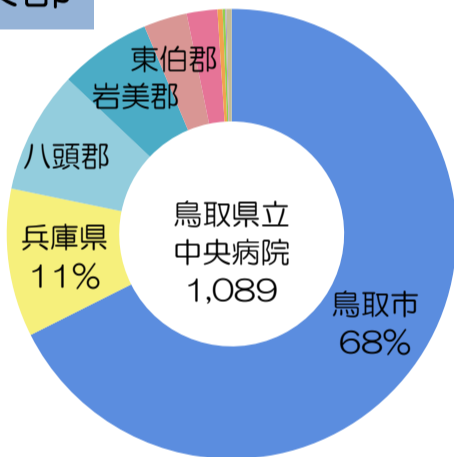
とりわけ、鳥取大学医学部附属病院は、米子市をはじめとする西部地域の診断時住所が大半であったが、島根県の20%をはじめとし、東伯郡、倉吉市、鳥取市など地域外からの患者がほぼ40%を占めるのが注目される。

診断時住所別登録割合(鳥取県全体)

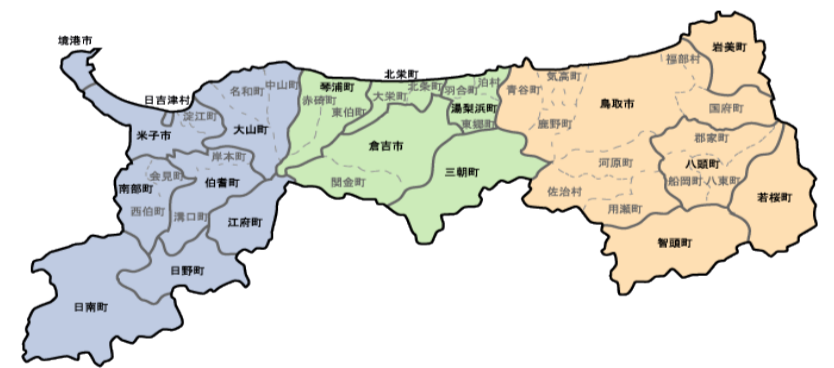
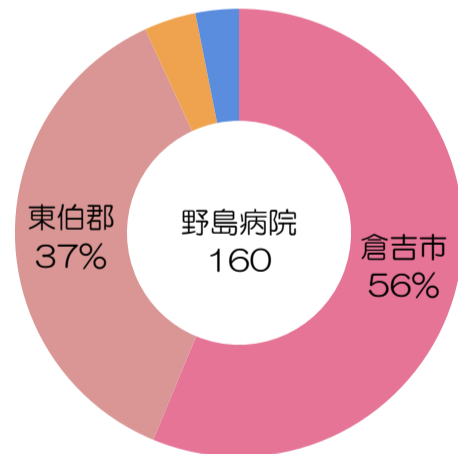
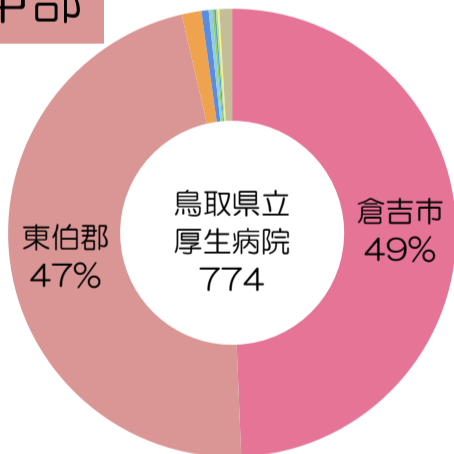


鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	岩美郡	八頭郡	東伯郡	西伯郡	日野郡	島根県	兵庫県	岡山県	その他	合計
2,086	1,839	609	303	126	327	677	527	148	529	193	50	40	7,454

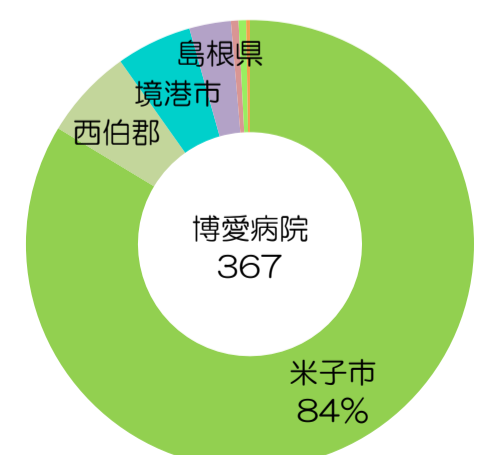
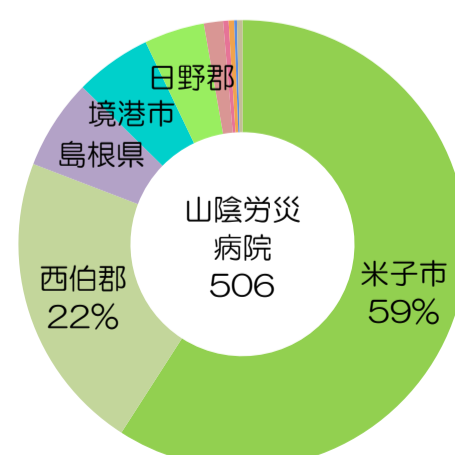
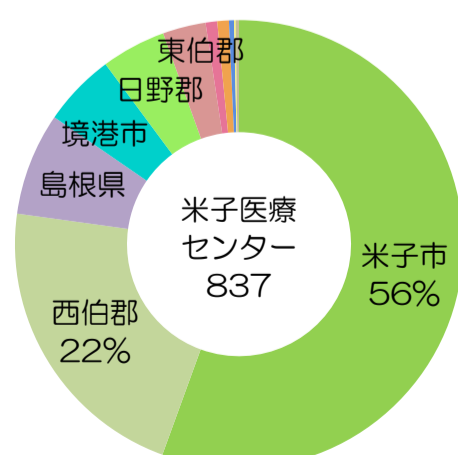
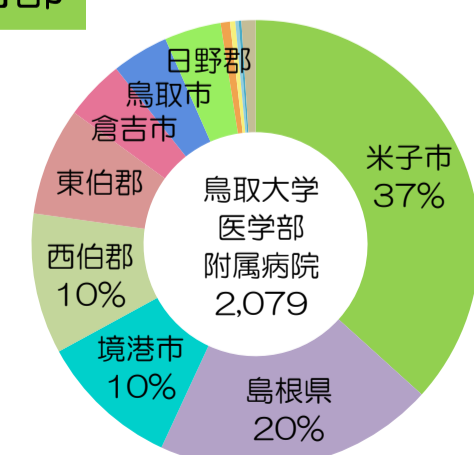
東部



中部



西部

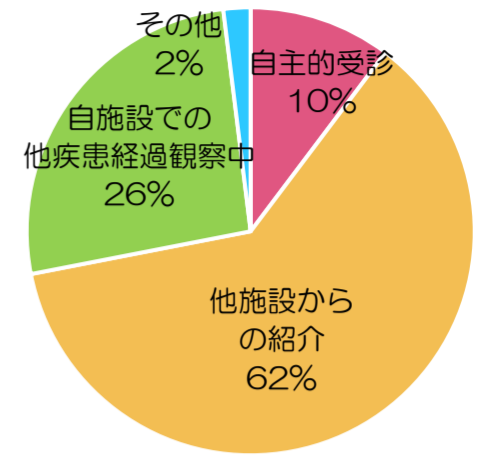


■鳥取市 ■米子市 ■倉吉市 ■境港市 ■岩美郡 ■八頭郡 ■東伯郡 ■西伯郡 ■日野郡 ■島根県 ■兵庫県 ■岡山県 ■その他

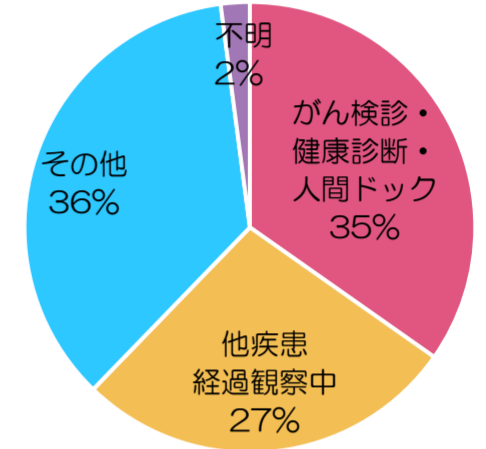
一胃(2019)

胃がんは、男性599件、女性267件で総数は866件、男性が女性の2.2倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも8割強を占め、男女とも65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、その割合は6割強を占める。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「内視鏡」、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、Ⅲ期では「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術」、Ⅳ期では「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

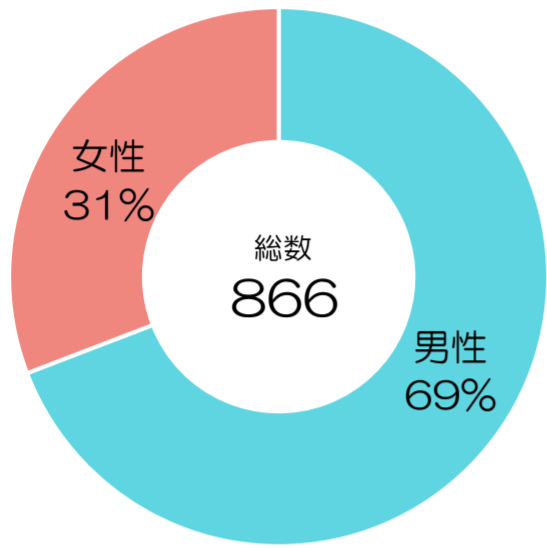
来院経路



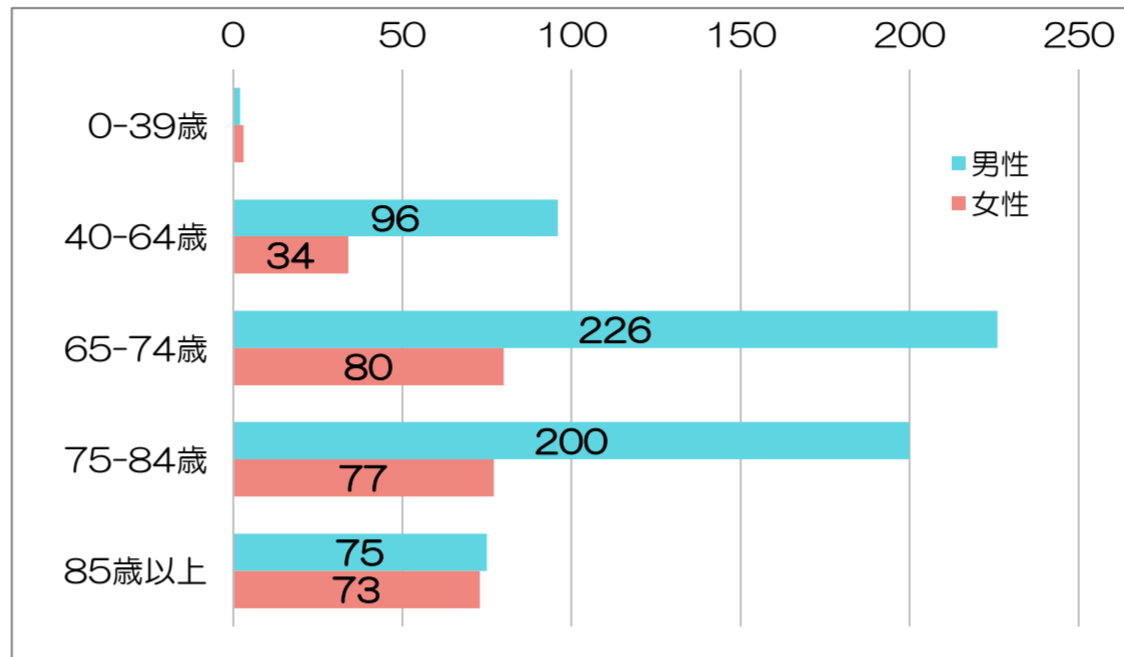
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

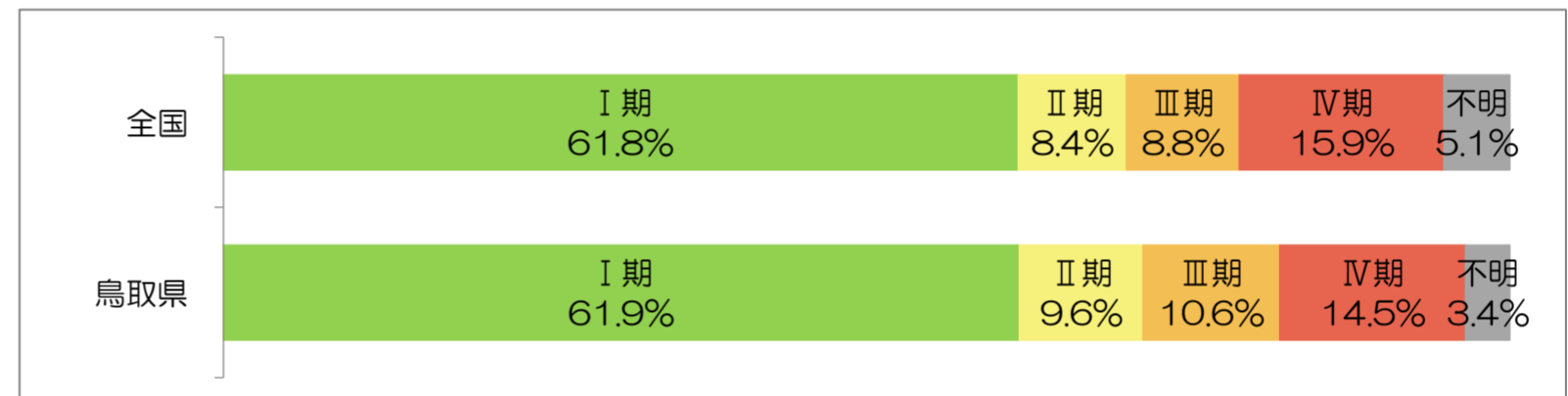


治療前ステージ別登録数

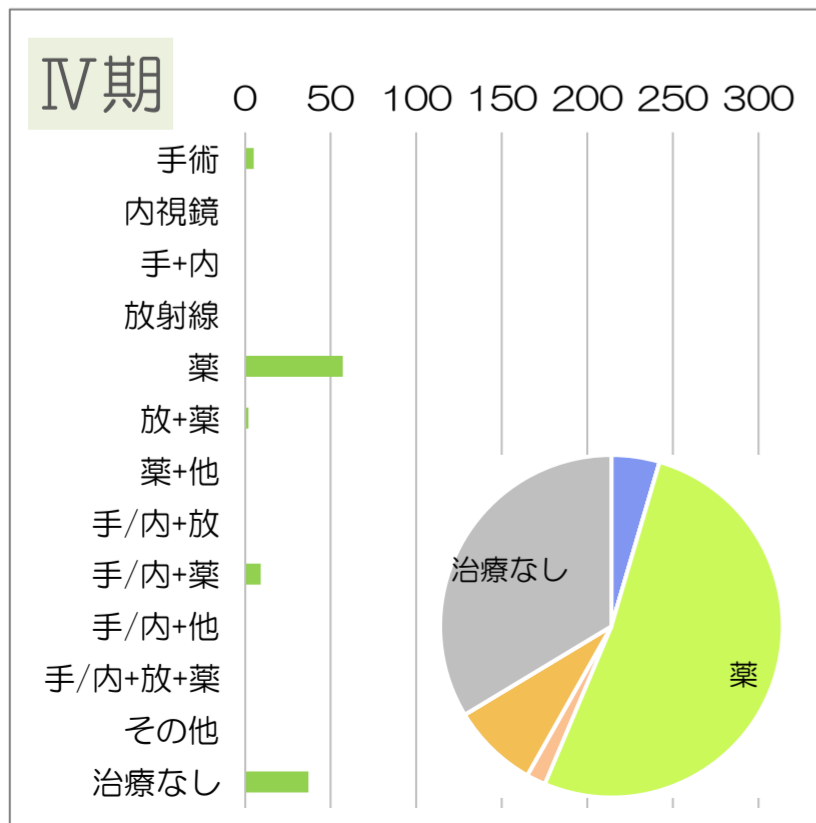
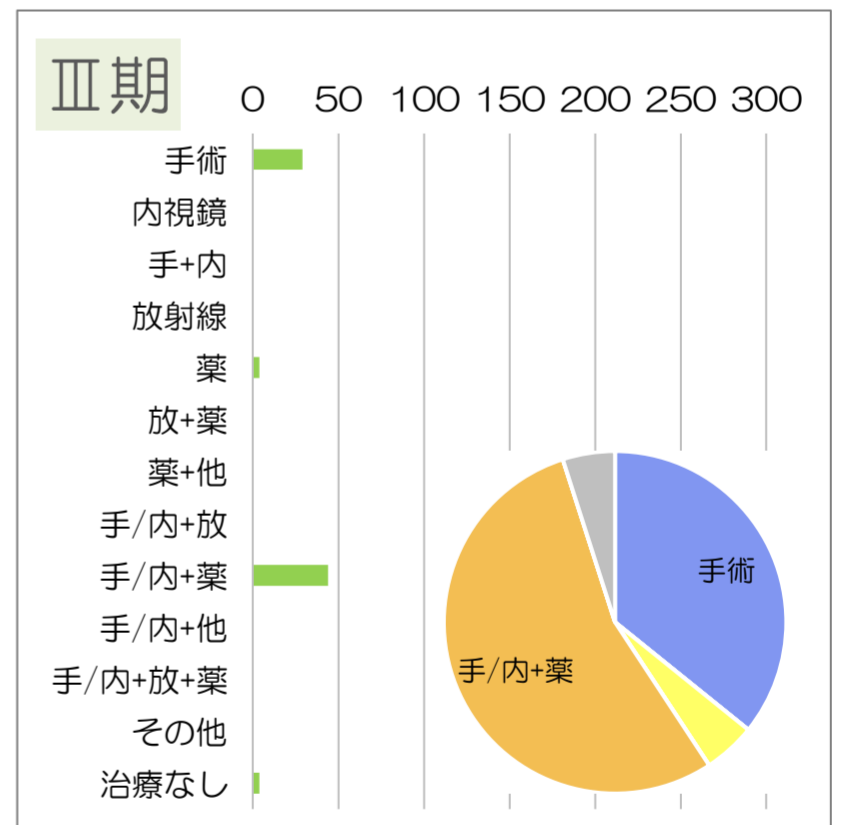
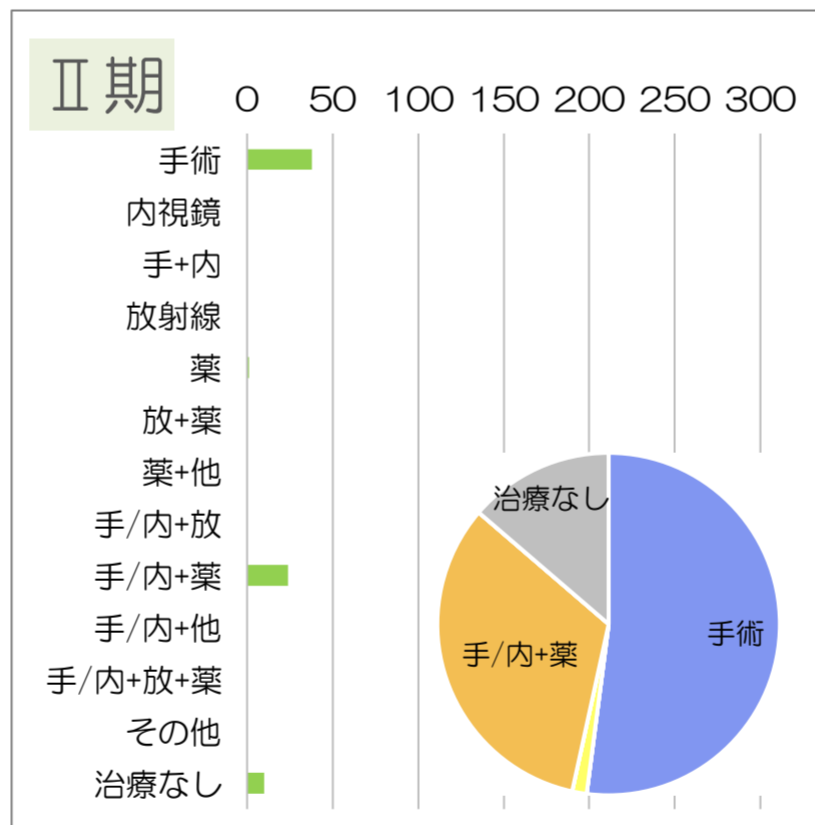
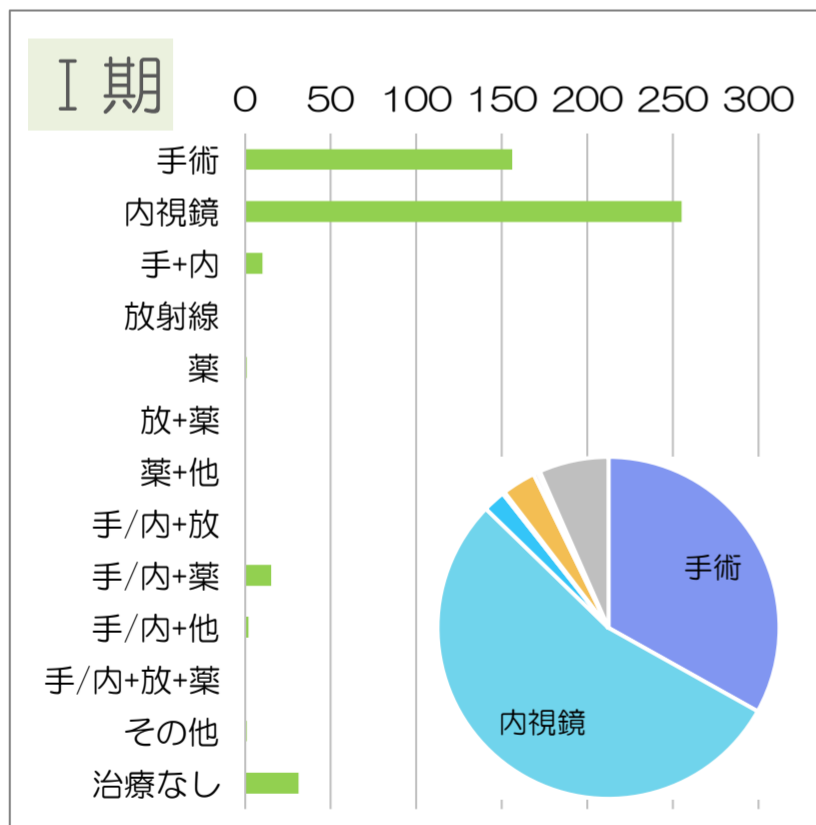
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
471	73	81	110	26	761

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>



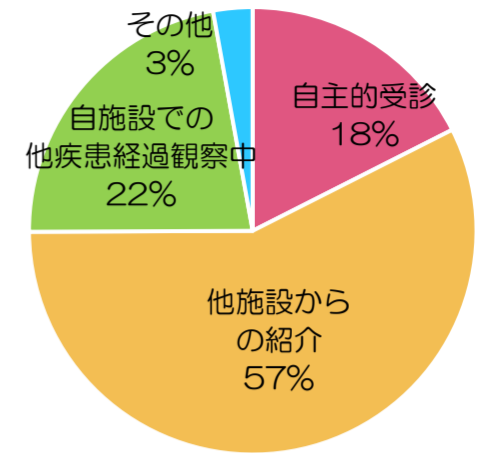
ステージ別治療方法



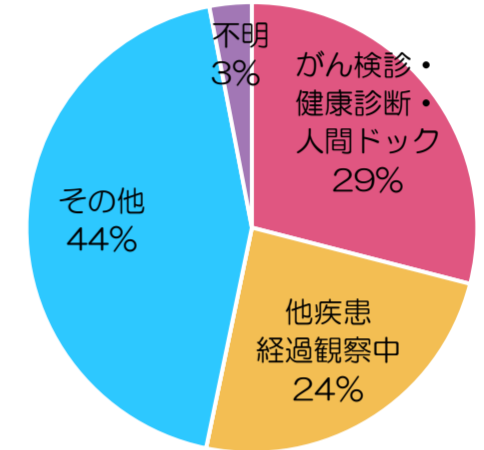
一大腸(2019)

大腸がんは、男性634件、女性455件で総数は1,089件、男性が女性の約1.4倍を示す。年齢階級別には、65歳以上が男性では7割強、女性では8割弱を占め、男性は65-74歳、女性は75-84歳が最も多い。ステージ別には、Ⅲ期が最も多く、次いでⅠ期、Ⅱ期、Ⅳ期の順。Ⅰ期は7.3%と最も少ない。ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「内視鏡」、Ⅱ期～Ⅳ期とも「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術/内視鏡+薬物療法」、「手術」など多様で大半を占めるようになる。

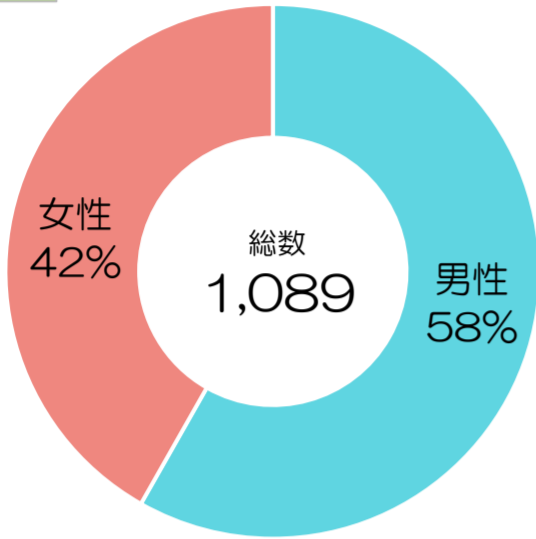
来院経路



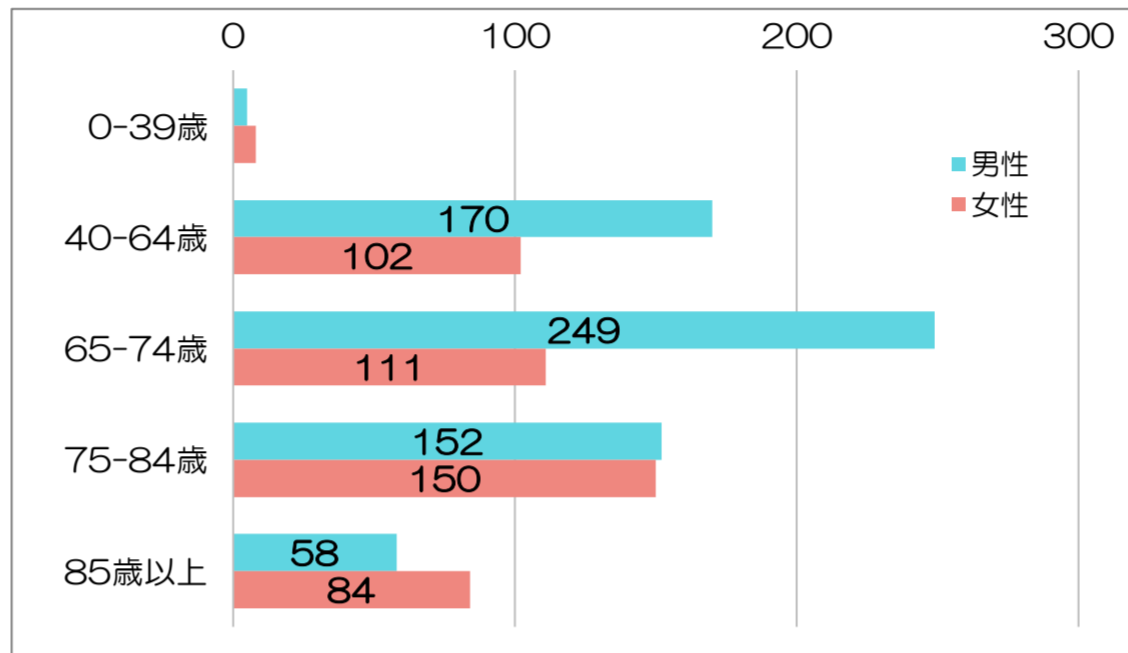
発見経緯



男女比



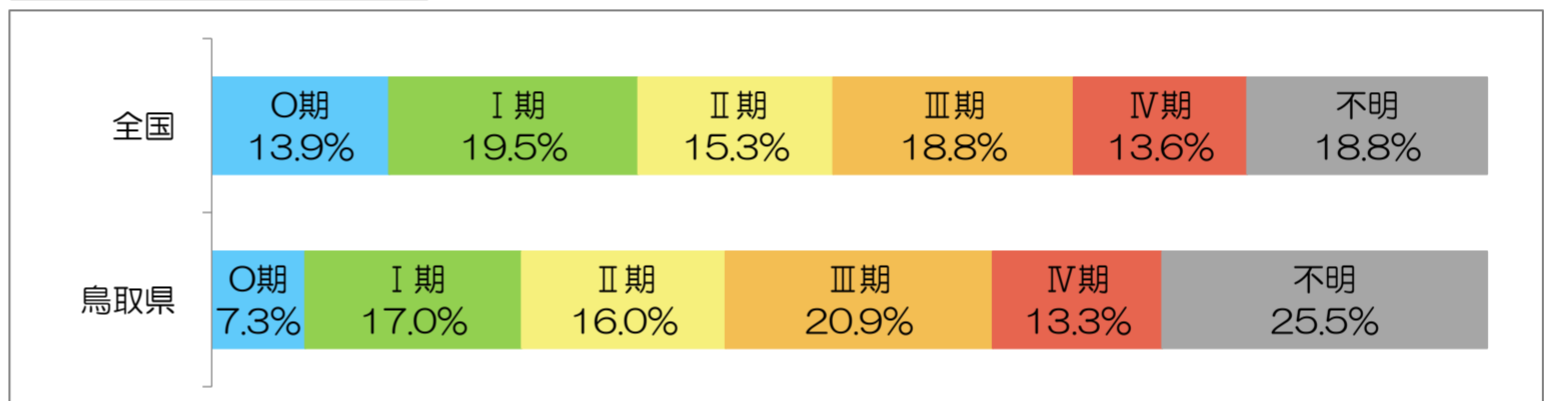
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

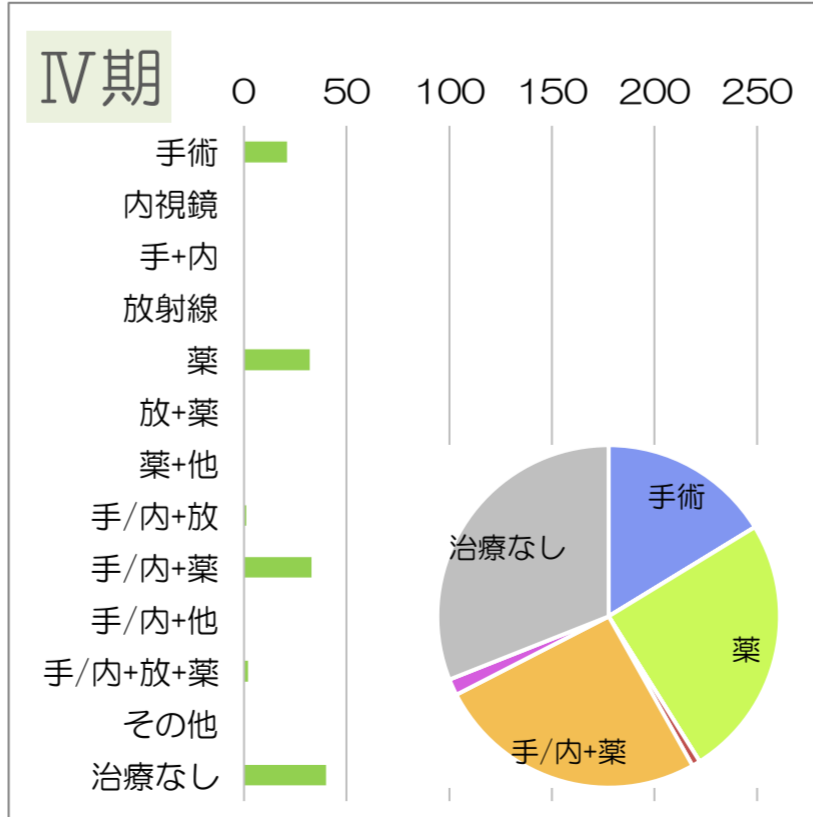
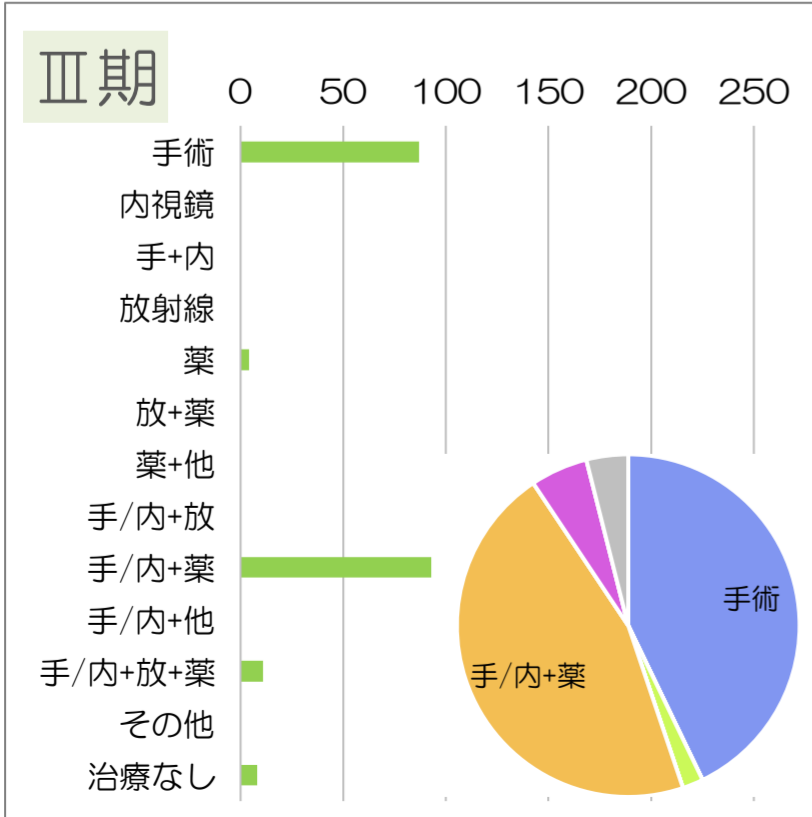
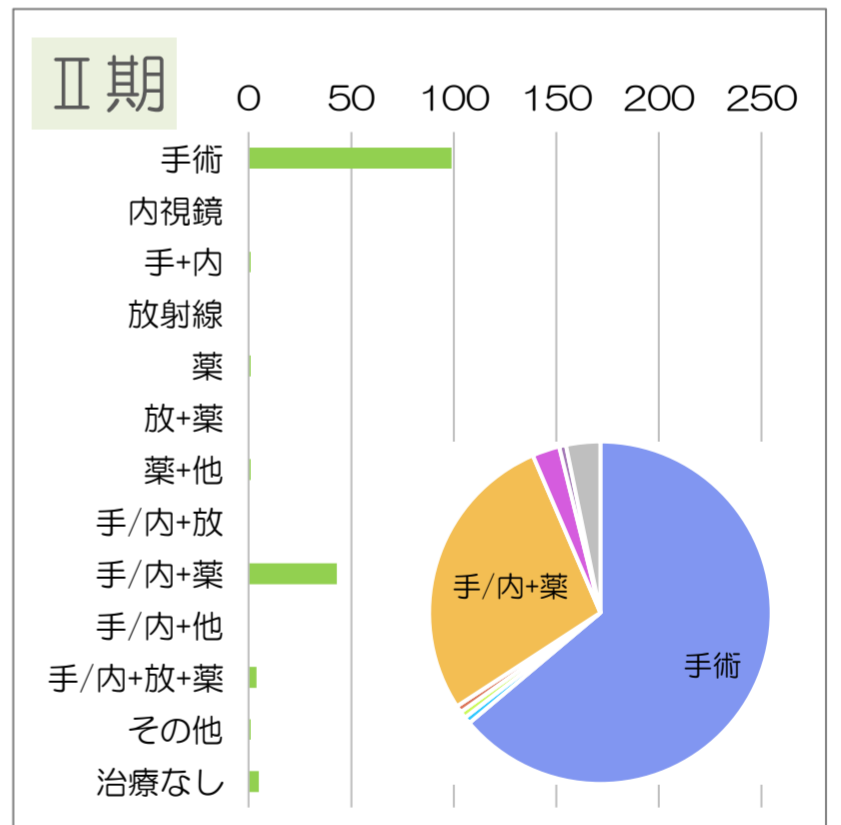
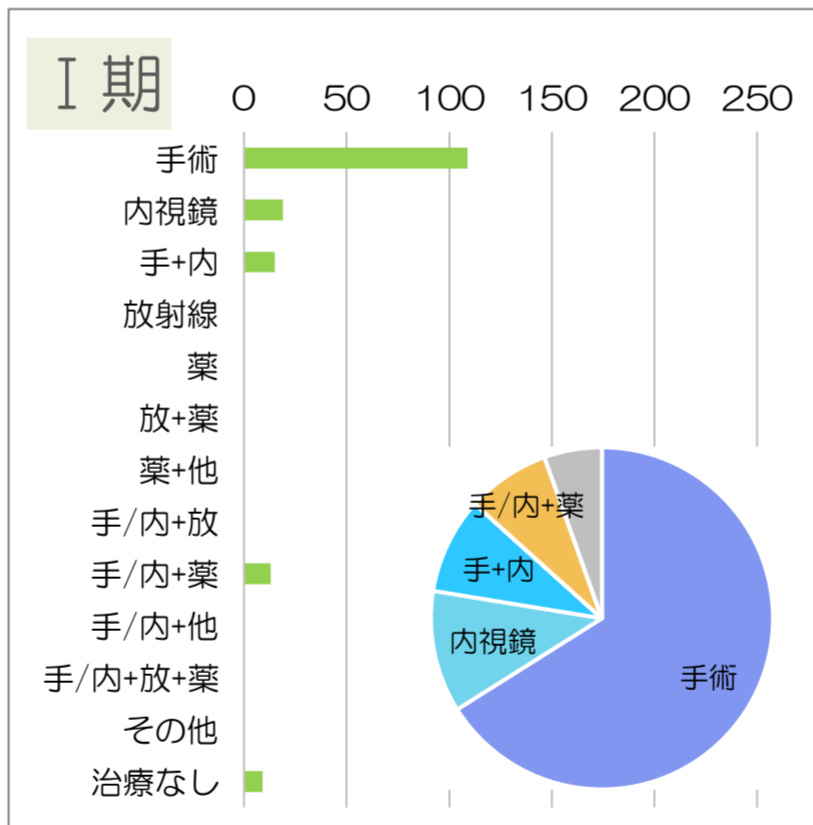
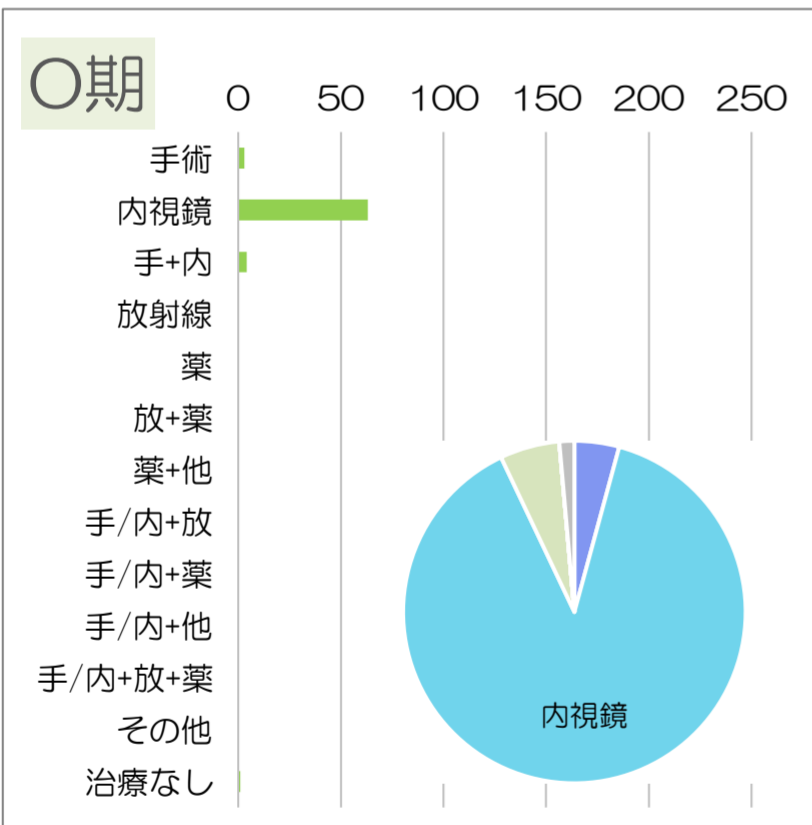
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
71	165	155	203	129	247

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>

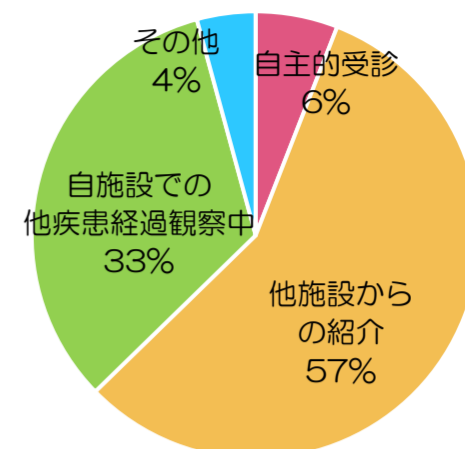
ステージ別治療方法



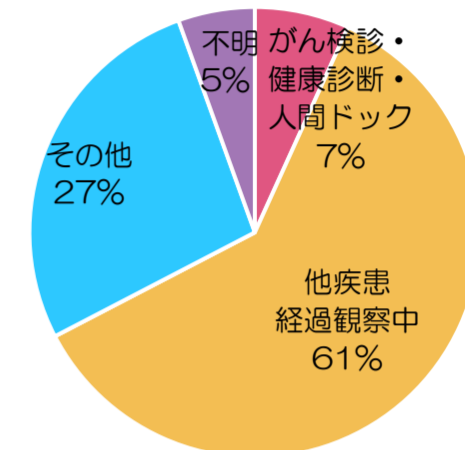
—肝臓(2019)—

肝臓がんは、男性170件、女性66件で総数は236件、男性が女性の2.6倍を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男性では79%、女性は95%を占め、男女とも75-84歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、次いでⅡ期、Ⅲ期、Ⅳ期の順。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、「薬物療法+その他」、「その他」、Ⅱ期では「薬物療法+その他」、「手術」、Ⅲ期では「薬物療法」、「治療なし」、「薬物療法+その他」、Ⅳ期では「治療なし」、「薬物療法」、が大半を占めるようになる。

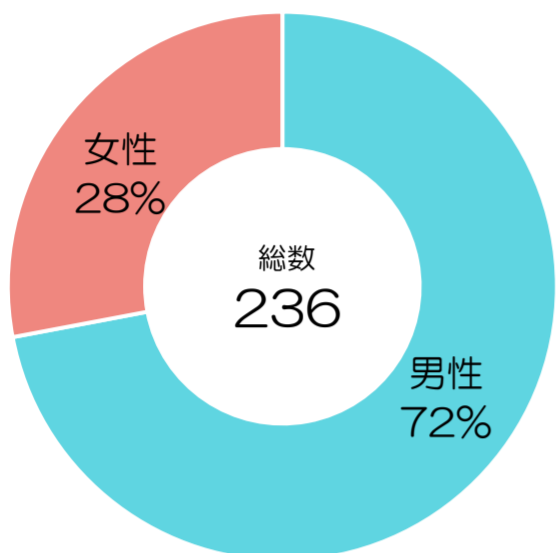
来院経路



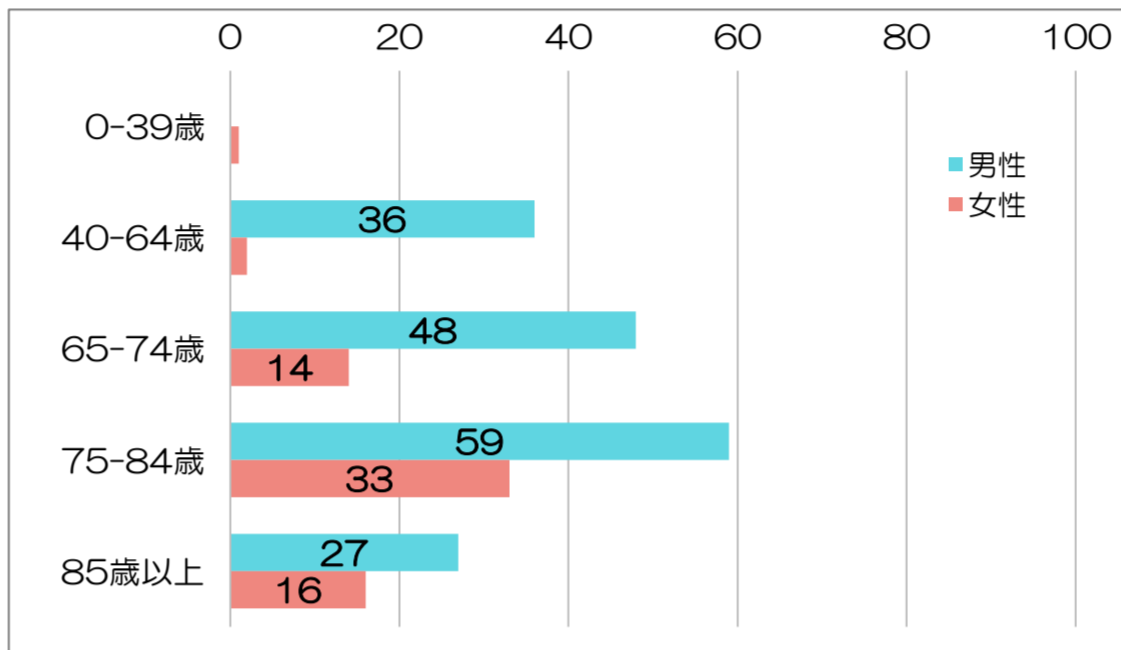
発見経緯



男女比



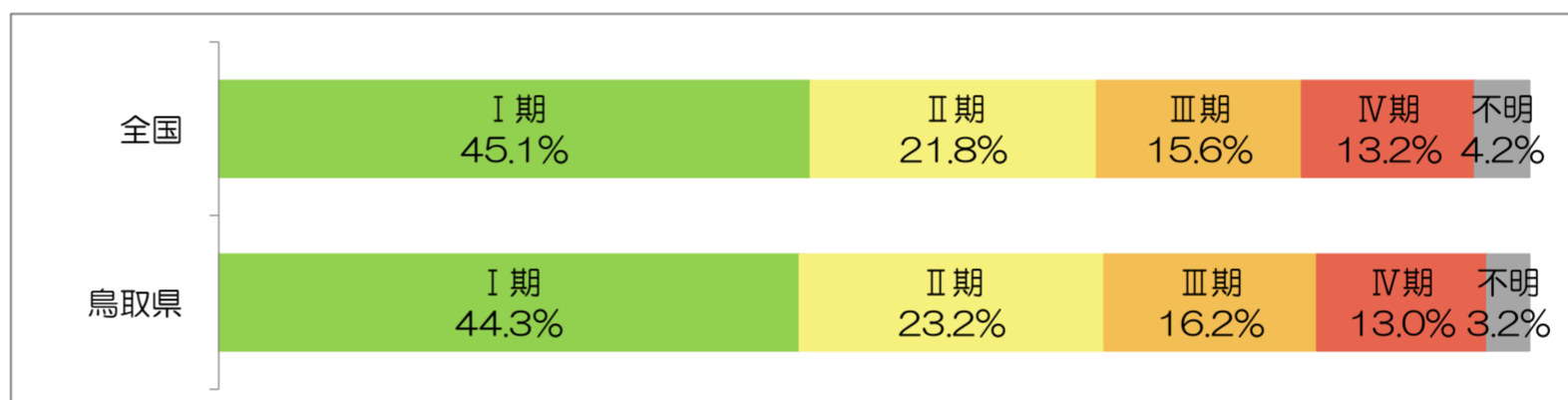
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

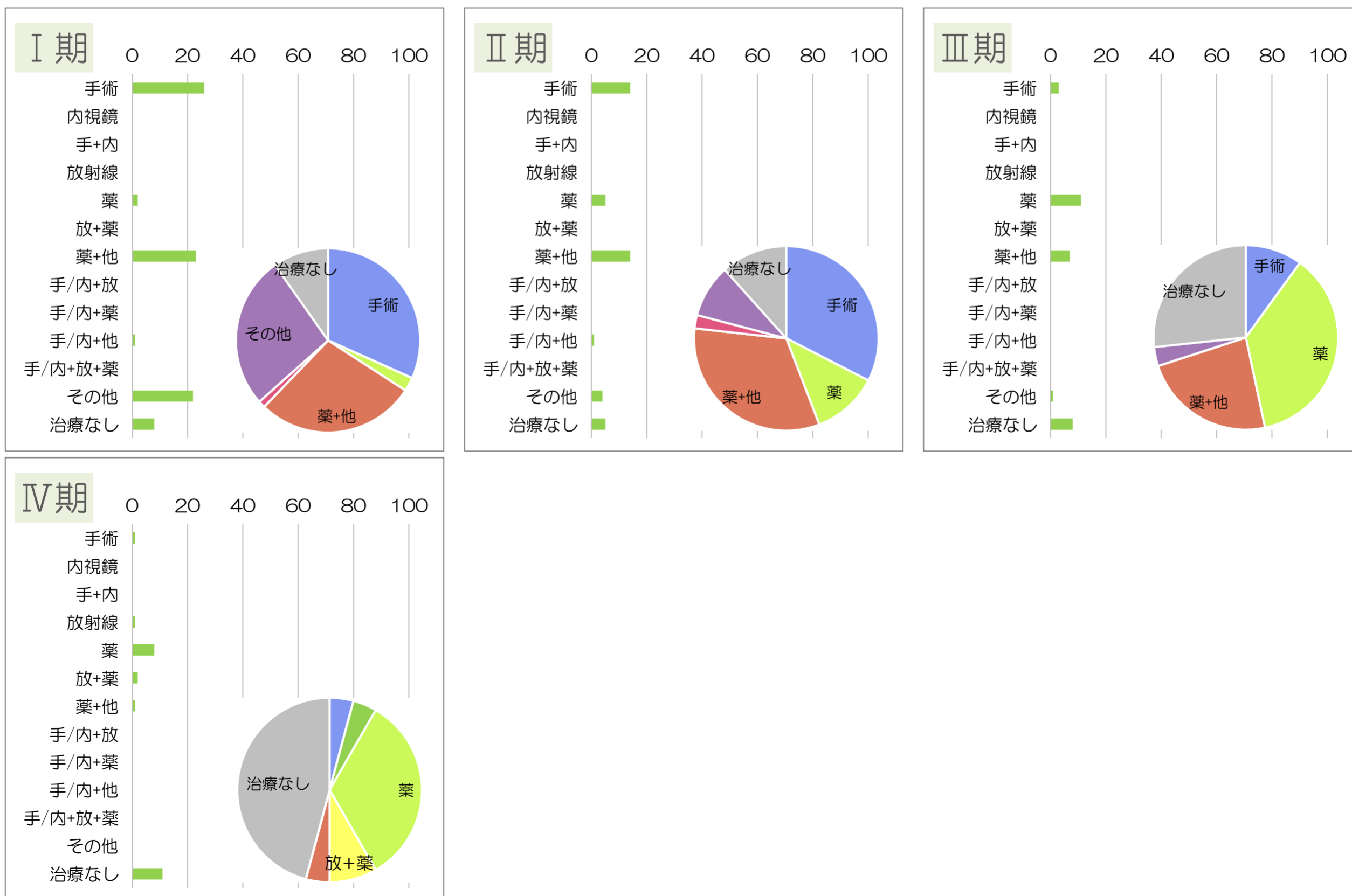
Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
82	43	30	24	(4-6)	185

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

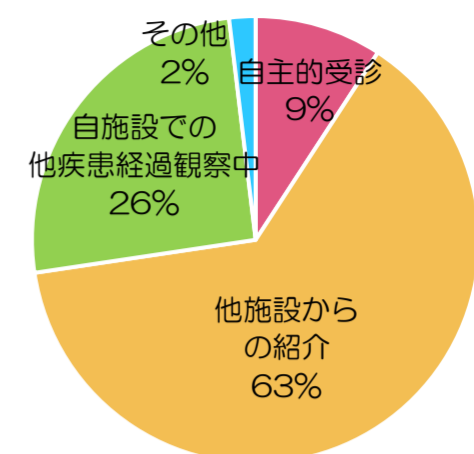
ステージ別治療方法



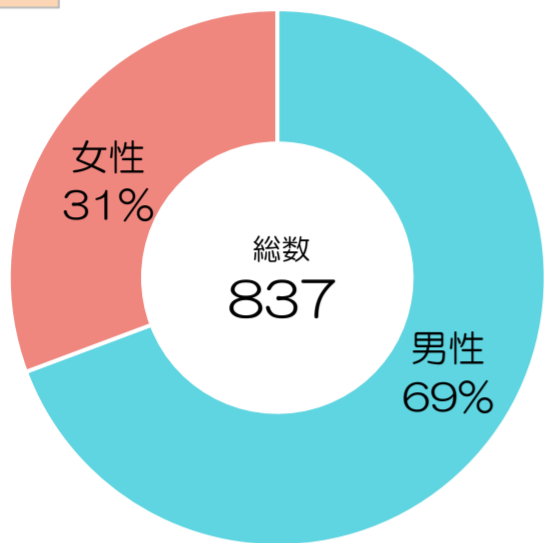
—肺(2019)—

肺がんは、男性580件、女性257件で総数は837件、男性が女性の2倍強を示す。
 年齢階級別には、65歳以上が男女とも80%前後を占め、男女とも65-74歳が最も多い。
 ステージ別には、Ⅰ期が42%、Ⅳ期が34%と多く、Ⅲ期が14%、Ⅱ期が6%と続く。
 ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「手術」、Ⅱ期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」、
 「治療なし」、Ⅲ期では、「放射線+薬物療法」、「薬物療法」、「治療なし」、Ⅳ期では、
 「薬物療法」、「治療なし」が大半を占めるようになる。

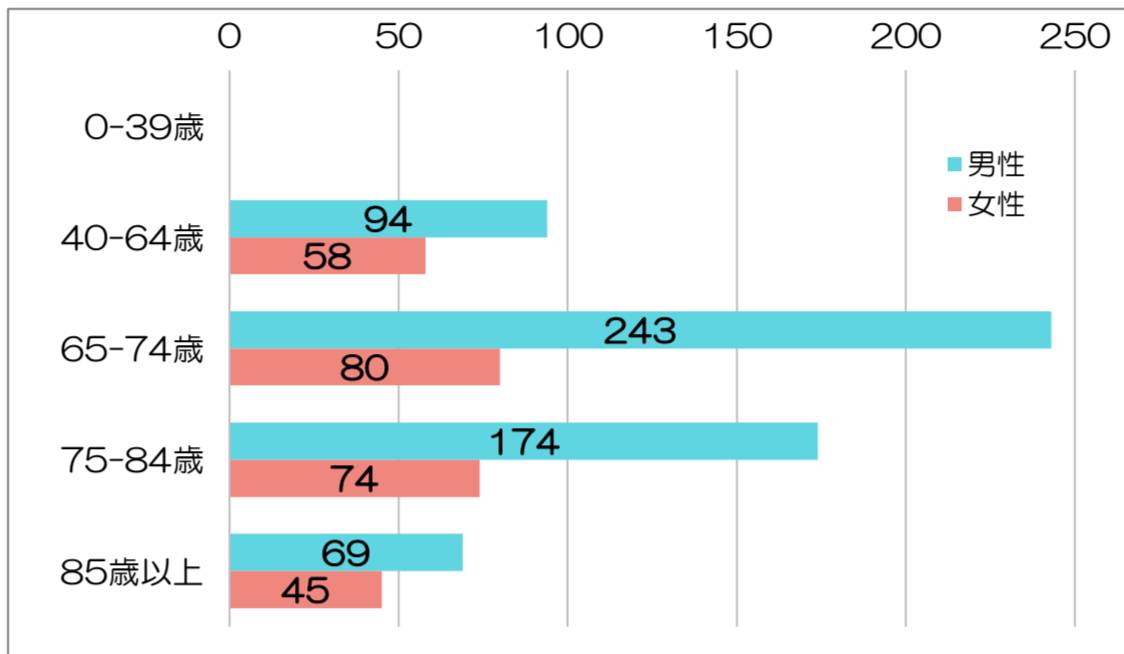
来院経路



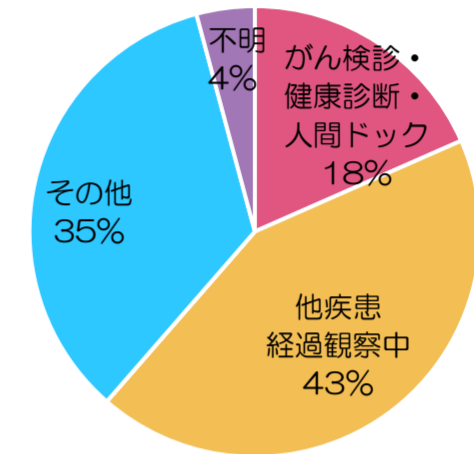
男女比



年齢別登録件数



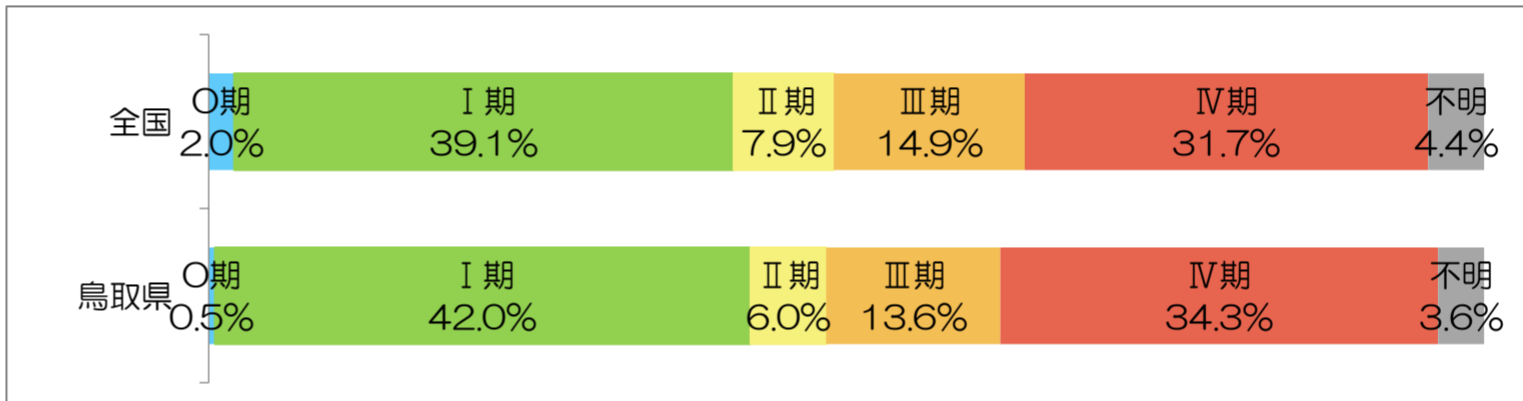
発見経緯



治療前ステージ別登録数

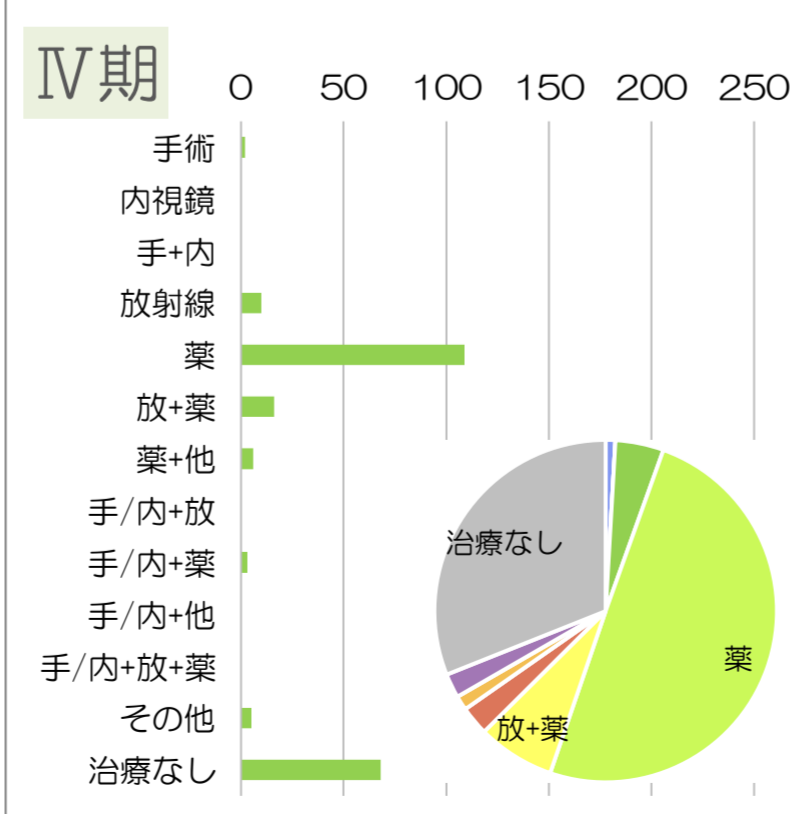
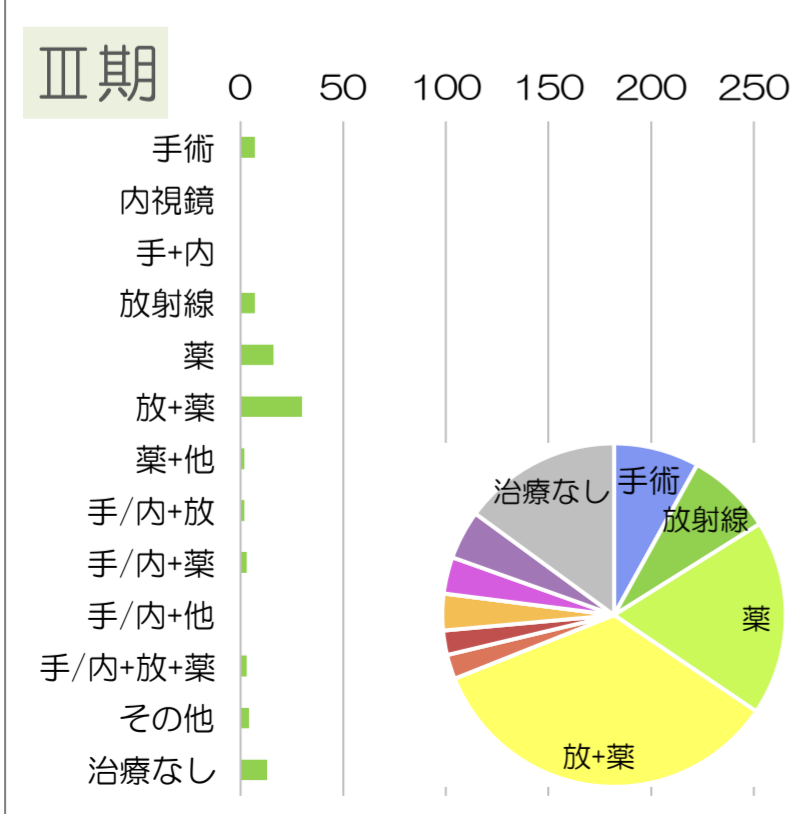
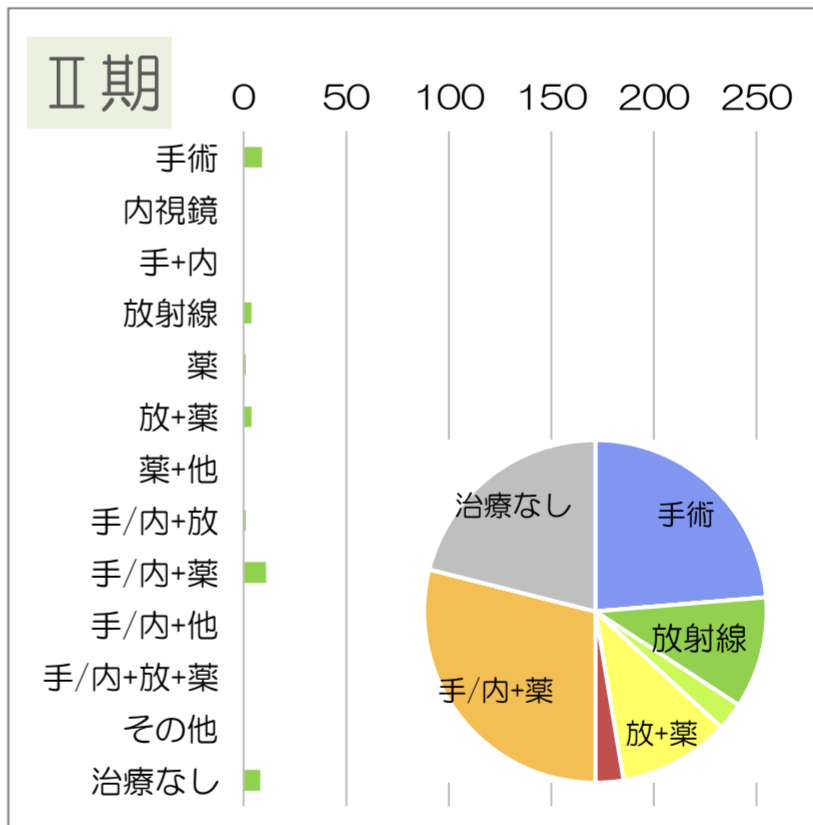
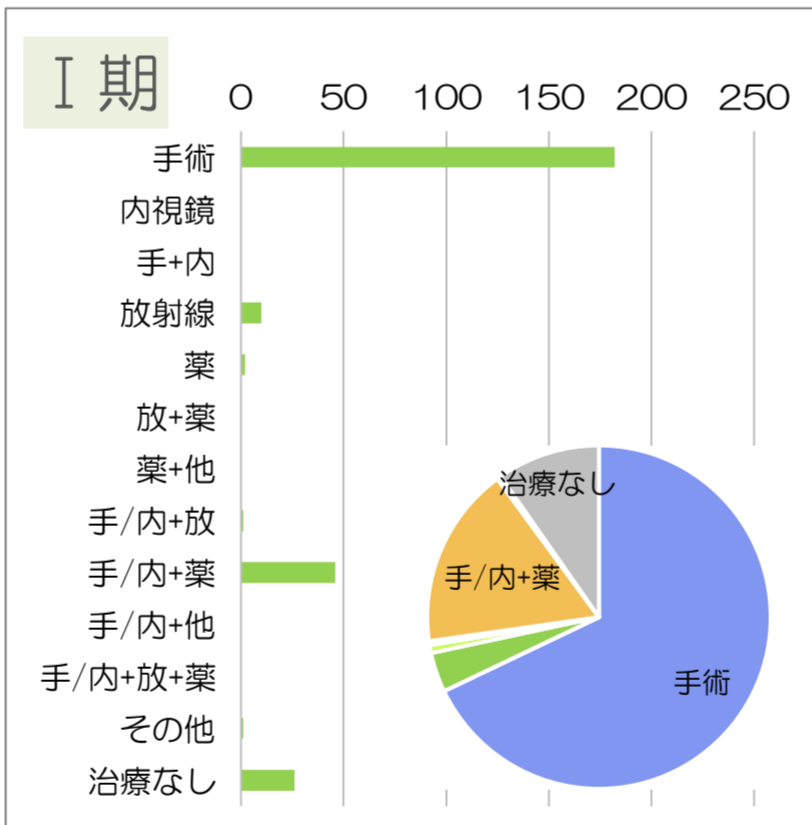
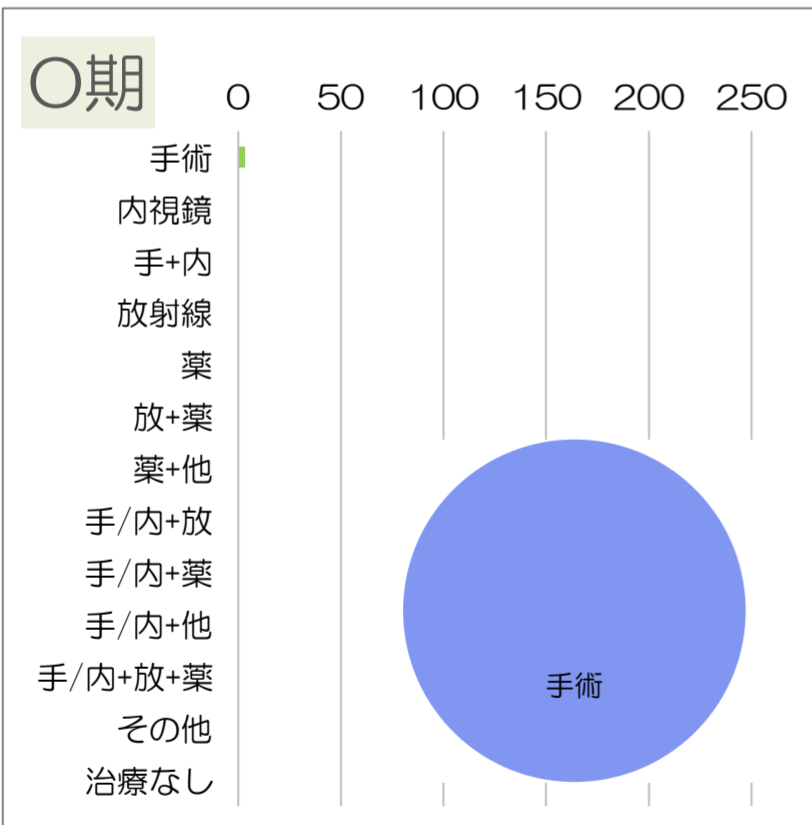
〇期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
(1-3)	268	38	87	219	23	638

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は(自施設で初回治療を行った症例)のみ>

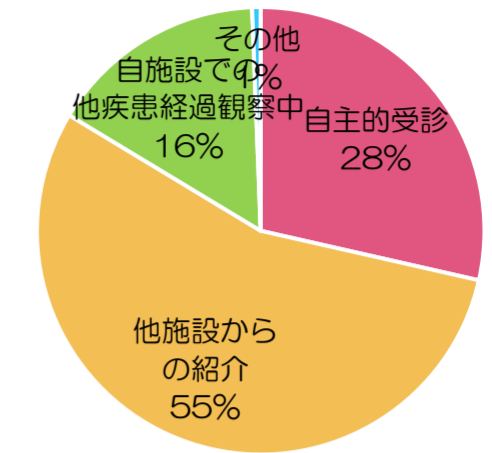
ステージ別治療方法



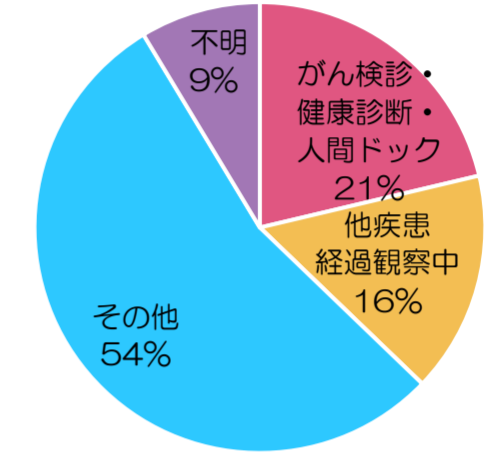
—乳房(2019)—

乳がんは、総数は648件、男性はわずかに0.2%で、女性がほとんどを占める。
 年齢階級別には、40-64歳が42%でほぼ半数を占め、その後年齢とともに減少する。
 ステージ別には、I期が41.3%で最も多く、次いでII期、III期の順。0期は9.1%、IV期は5.9%
 で最も少ない。
 ステージ別の治療方法は、0期では「手術/内視鏡+薬物療法」、I期～III期では、「手術/内視鏡+
 薬物療法」、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」、IV期では「薬物療法」と「放射線+薬物療法」、
 「手術/内視鏡+薬物療法」、の組合せで大半を占めるようになる。

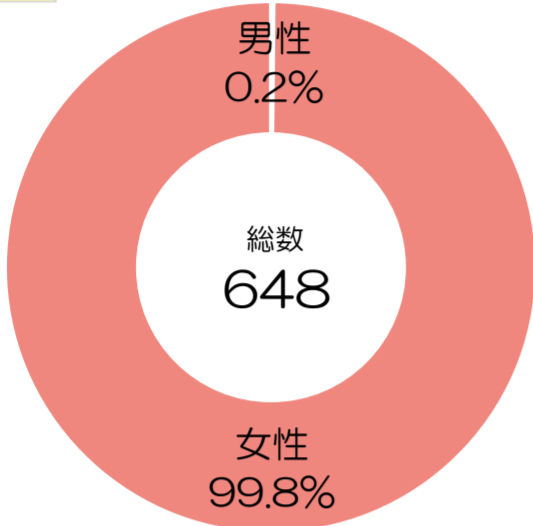
来院経路



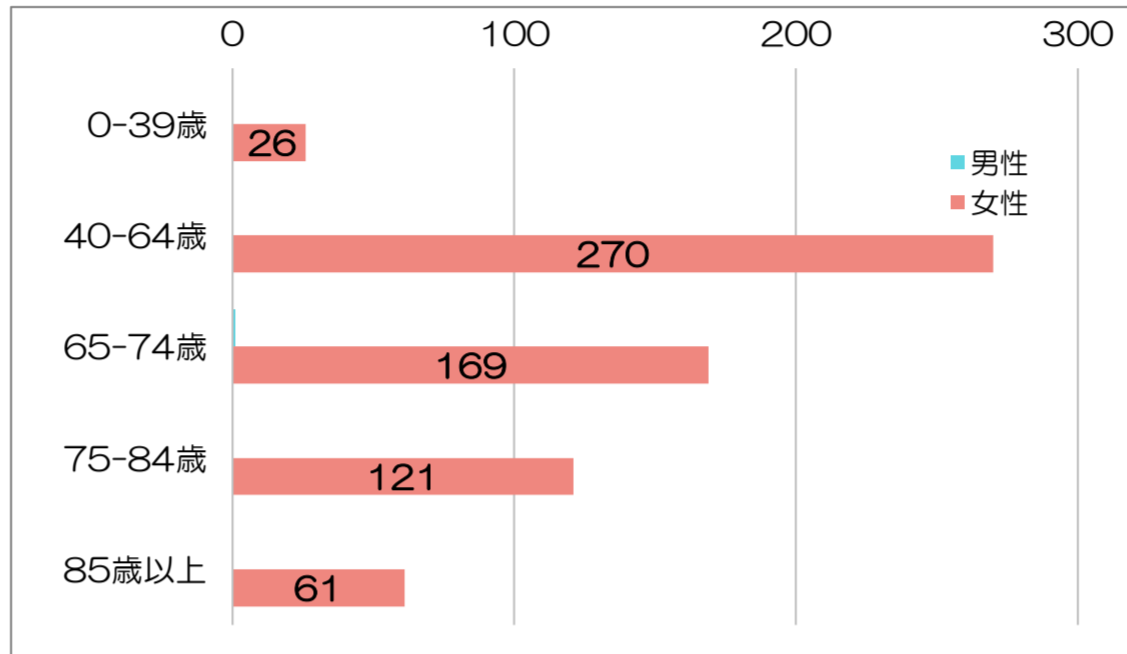
発見経緯



男女比



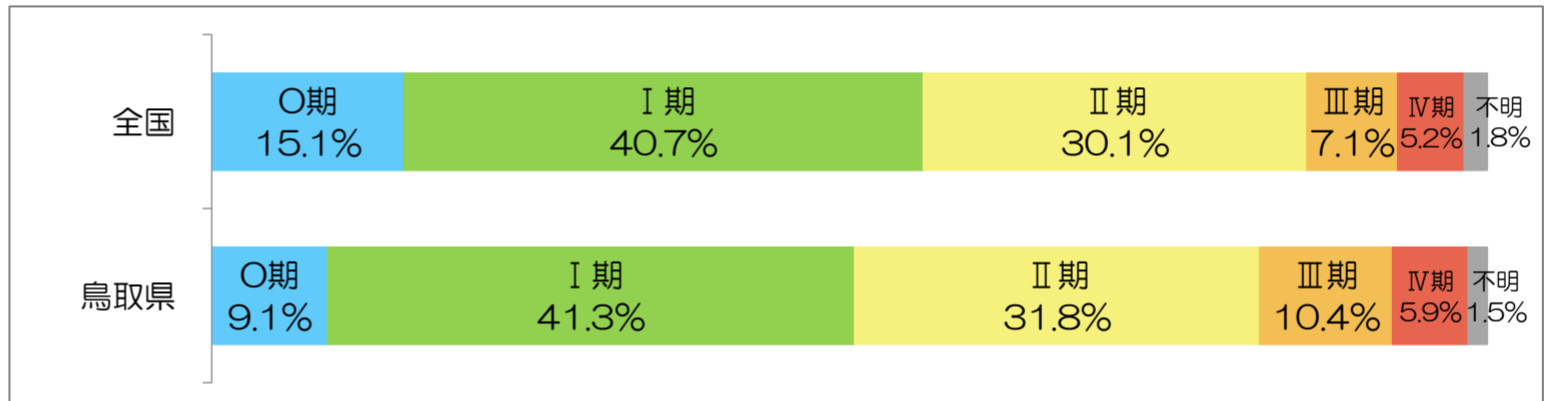
年齢別登録件数



治療前ステージ別登録数

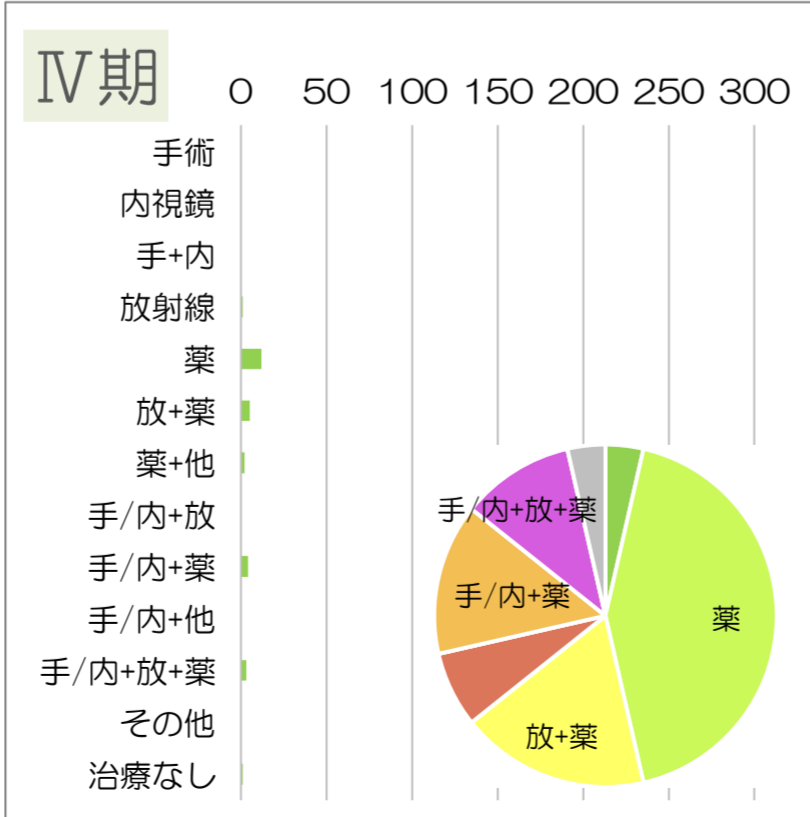
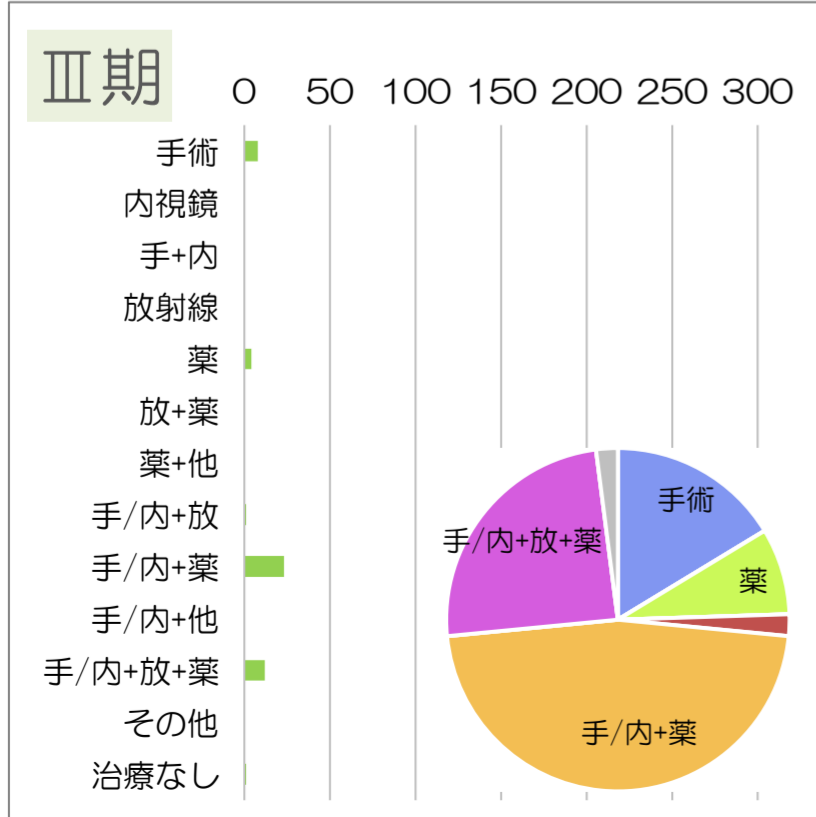
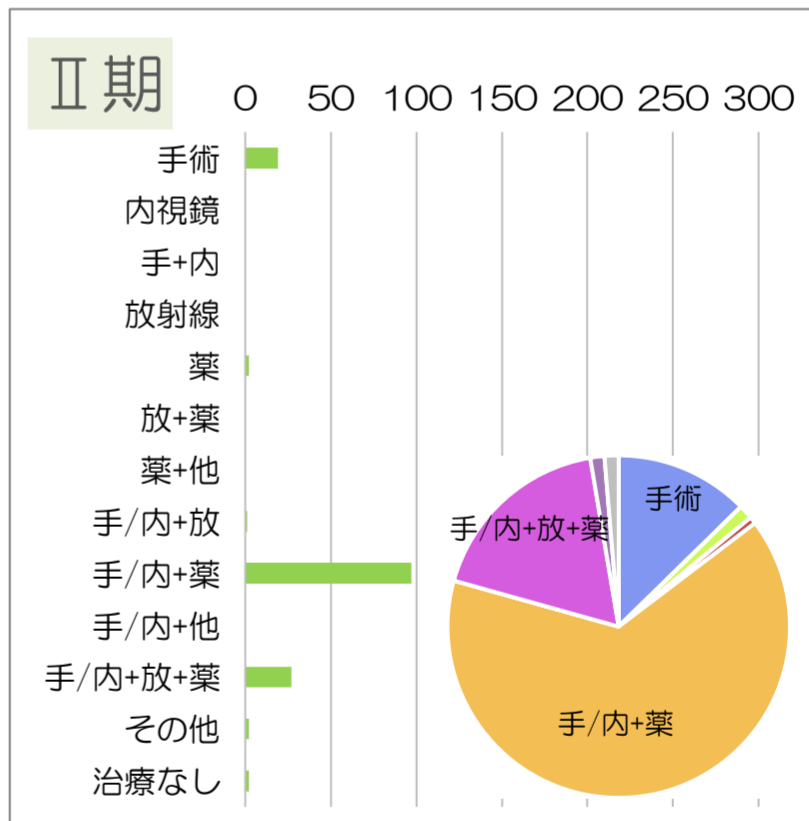
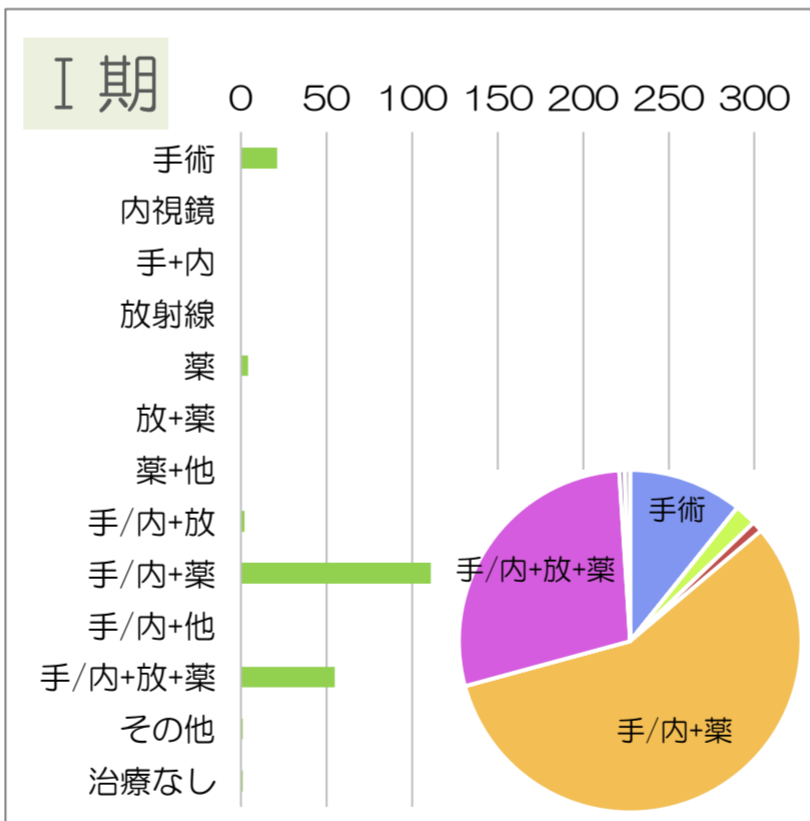
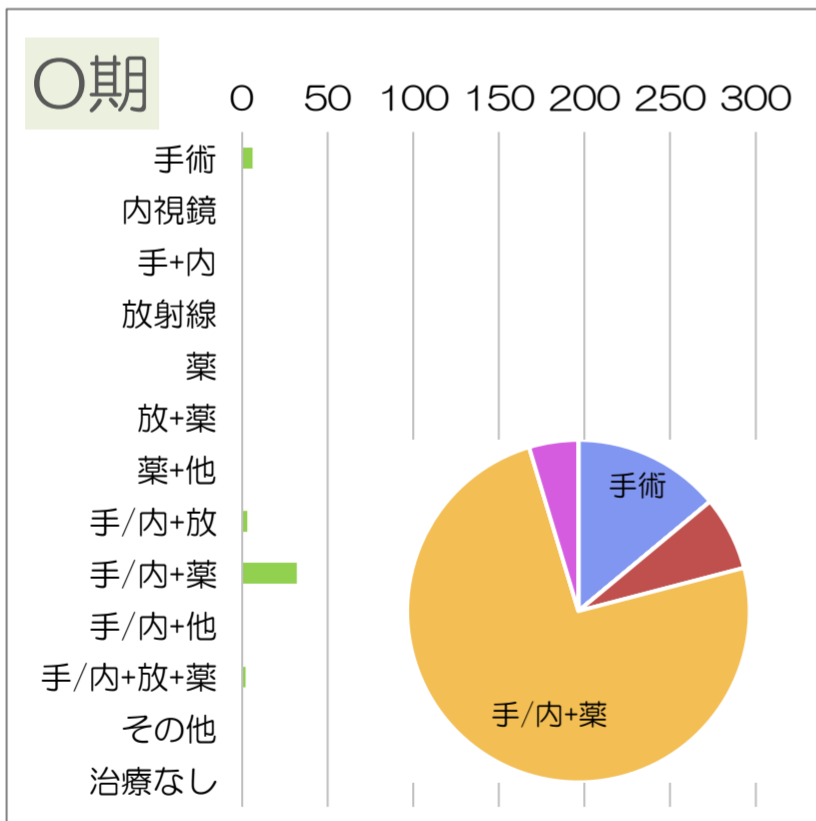
0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
43	195	150	49	28	(7-9)	472

治療前ステージ別割合



* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ

ステージ別治療方法



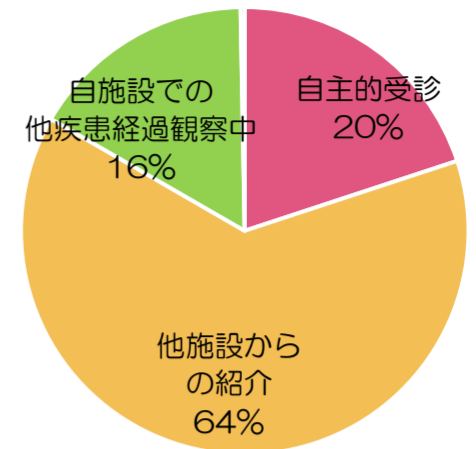
子宮(2019)

子宮がんは、総数336件、年齢階級別には、40-64歳が174件で最も多く、52%の半数を占めるが、40歳未満でも88件の26.2%を示す。

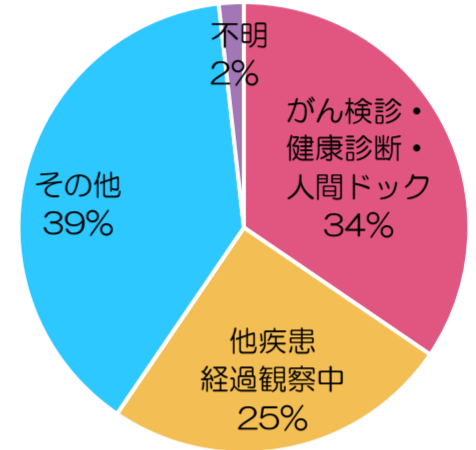
ステージ別には、子宮頸部は0期が最も多く、子宮体部はI期が最も多い。

ステージ別の治療方法は、0期では「手術」がほとんどで、I期では「手術」、「手術/内視鏡+薬物療法」で大半を占め、II期では「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」、「放射線」、「放射線+薬物療法」が加わり、III期では、「放射線+薬物療法」がほぼ3/4を占め、その他「手術」と「放射線」が1/4、さらに、IV期では「治療なし」、「薬物療法」が加わり多様となっている。

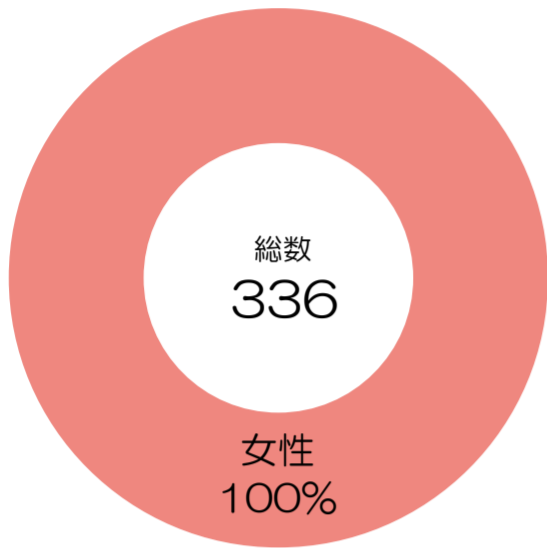
来院経路



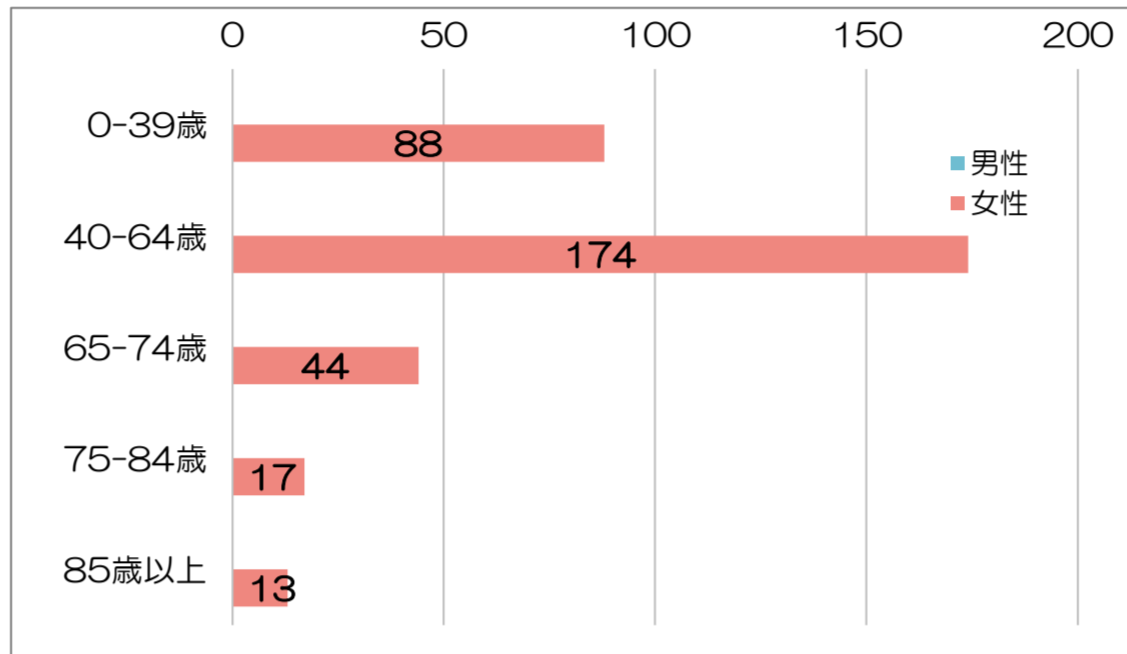
発見経緯



男女比



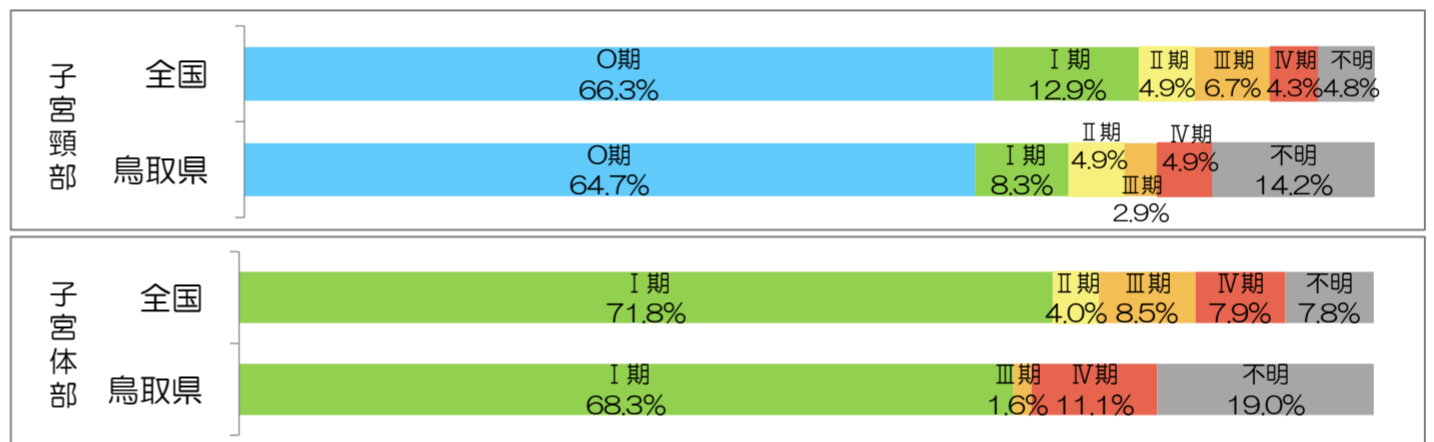
年齢別登録件数



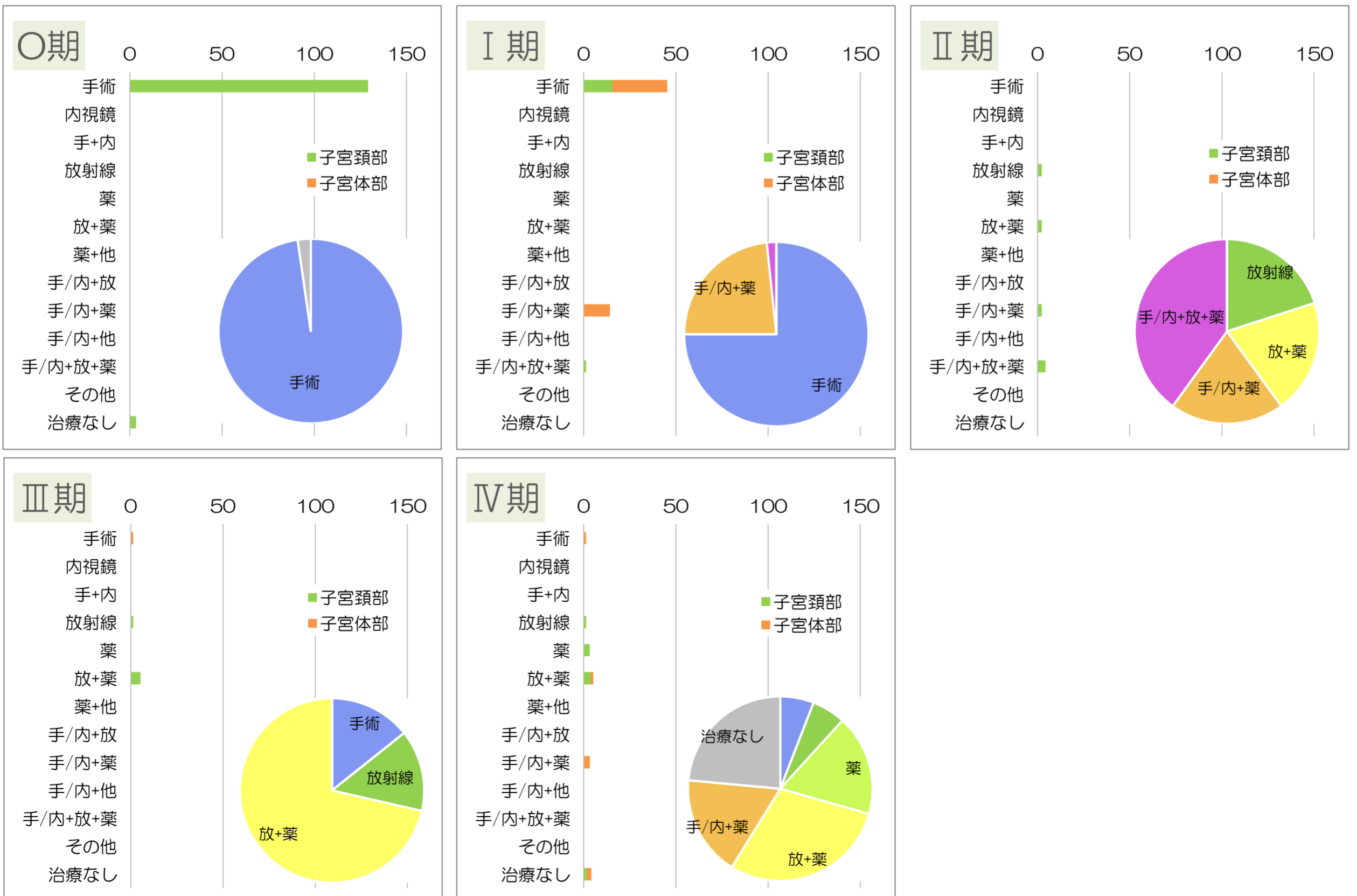
治療前ステージ別登録数

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
子宮頸部	132	17	10	(4-6)	10	29	204
子宮体部	-	43	-	(1-3)	(7-9)	12	63

治療前ステージ別割合



ステージ別治療方法



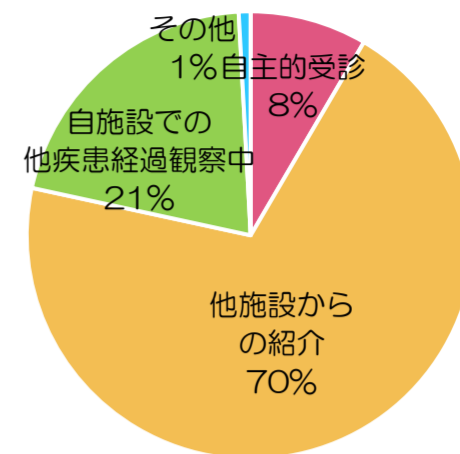
—前立腺(2019)—

前立腺がんは、総数699件、年齢階級別には、65-74歳は301件と最も多く、43%を占め、65歳以上は90%を示す。

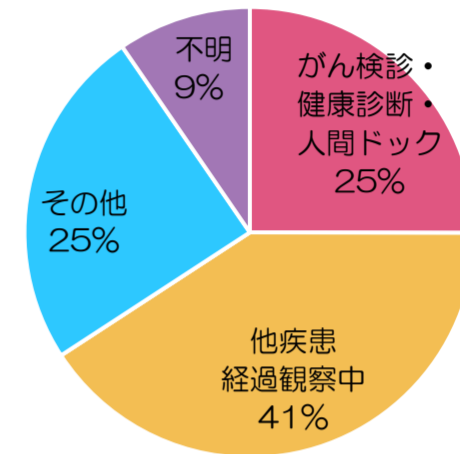
ステージ別には、Ⅰ期が最も多く、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期の順となっている。

ステージ別の治療方法は、Ⅰ期では「薬物療法」、「手術」、「治療なし」で3/4、これに「放射線+薬物療法」や「放射線」が加わり多種多様、Ⅱ期では「薬物療法」、「手術」が大半を占め、Ⅲ期では、これに「放射線+薬物療法」が加わり、Ⅳ期では治療のほとんどが「薬物療法」となる。

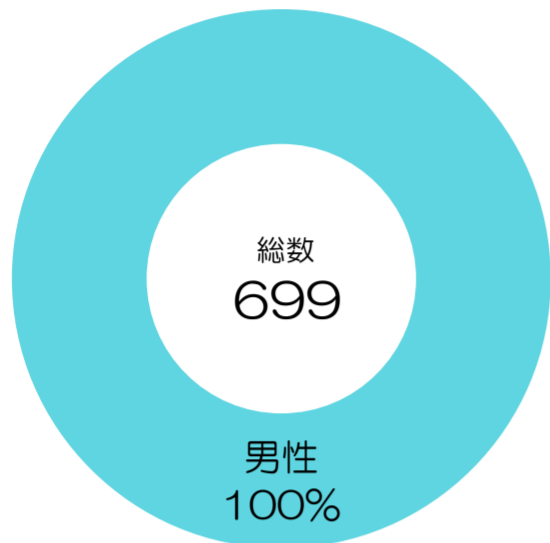
来院経路



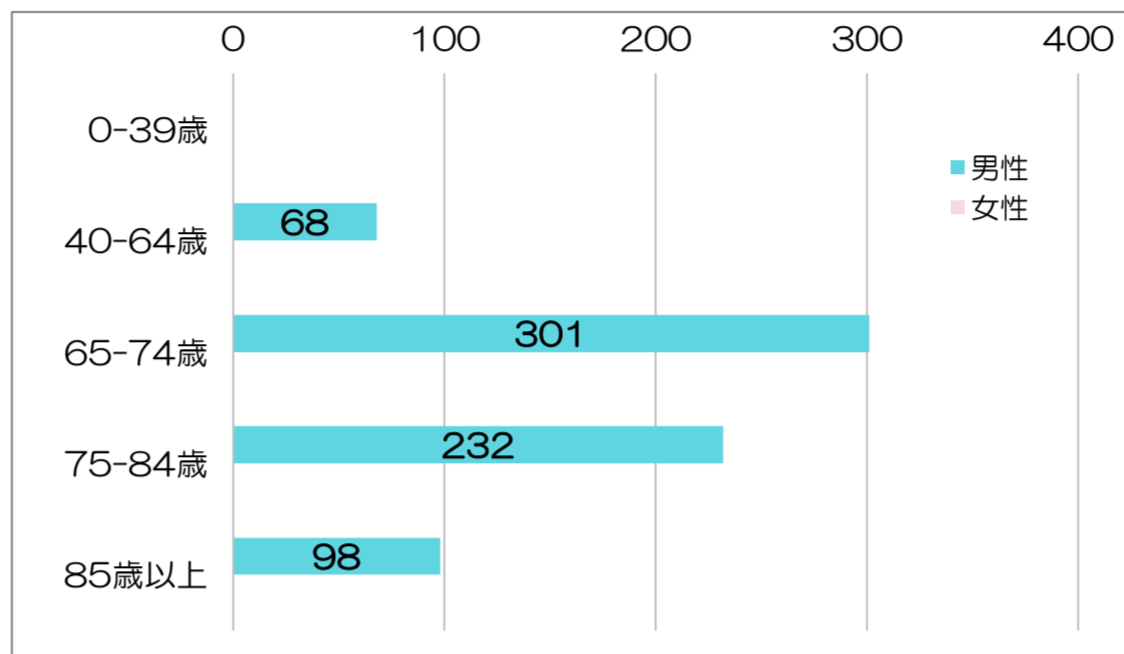
発見経緯



男女比



年齢別登録件数

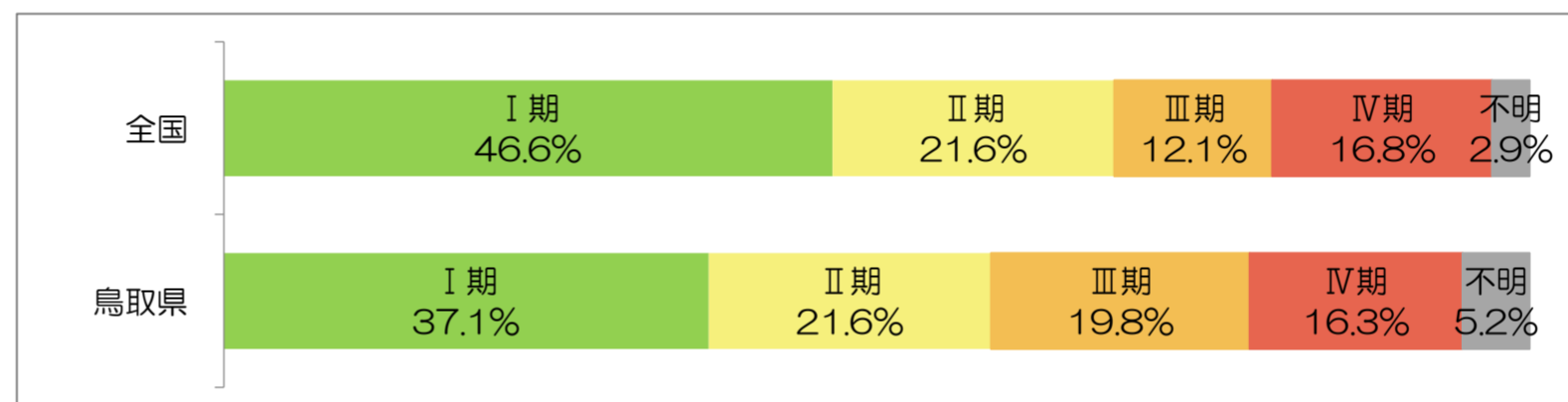


治療前ステージ別登録数

Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	合計
180	105	96	79	25	485

治療前ステージ別割合

* <ステージ別の集計数は（自施設で初回治療を行った症例）のみ>



ステージ別治療方法

